

【資料紹介】

二松學舎大学附属図書館蔵佐久間峻齋旧蔵書目録（医書之部）

清水 信子

はじめに

佐久間峻齋（一九一六～二〇〇三、名洋行、字儀卿、堂号向陽堂、峻齋は号）は、千葉・茂原の医師で、臨床のかたわら古医書の研究、収集につとめ、中川修亭『傷寒全論』、尾台榕堂『類聚方広義』などを復刊し、また漢詩人としても名を残した人物である。

峻齋は大正五年（一九一六）医家の長子として生まれ、祖父閑莊（寛蔵）が二松學舎の祖三島中洲と旧知の縁であったこともあり、昭和八年（一九三二）、二松學舎専門学校（現・二松學舎大学）に入学し漢文を学ぶ。漢学、詩文を好んだが、医学を継ぐため退学して日本医学専門学校（日本医専、現・日本医科大学）に入学し、丸山ワクチンで知られる丸山千里、解剖学の権威金子丑之助らに学んだ。卒業後は、医業に従事しつつ、漢方医学界の泰斗奥田謙蔵（一八八四～一九六一）を師とした

奥門会の講筵に列し、『傷寒論』などを学んだ。奥門会は、昭和二年（一九四六）頃、当時の千葉大学東洋医学研究室の武藤留吉、和田正系を中心に発足した会で、藤平健、小倉重成、石野信安らが参加した。一方、山田準（済斎、二松學舎専門学校初代校長）、塩谷温（節山）、今関天彭、鈴木虎雄（豹軒）らに師事して詩文も続け、詩社を結社し、また二松詩文会同人として、雑誌などに寄稿し、多くの詩作を残している。なおそれらは没後、次子保行氏により『峻齋詩鈔』（一九九一刊）としてまとめられている。

峻齋の収集を中心とした佐久間家の旧蔵書は坊間に流れたものもあり、これまで「佐久間／医院」「峻齋／秘笈」「佐久間／氏／家蔵」（以上、朱文正方印）、「佐久間」（朱文長方印）などの蔵書印から現所蔵と旧蔵書の一端を知るのみであった。確認された中には研医会図書館に所蔵される曲直瀬道三旧蔵の『玉機微義』をはじめ貴重書も散見する。このたび二松學舎大学附

属図書館に寄贈された旧蔵書は、寄贈者が佐久間家から譲り受けた約四五〇点とまとまったもので、これまで個別に解明されるのみでその詳細が不明であった「佐久間氏旧蔵書」というものの全体像が明らかになるものとして、またそれにより峻斎の学統、学究状況が知られるものとして注目に値する。旧蔵書の中心は医書類で三一五点。そのほか主に漢学漢詩関係資料である。

医書類は、『素問』『靈樞』など医経、本草、経脈、傷寒・金匱、『医方大成論』などの中国古典とその邦人注釈書類、また邦人医家による各種医方・医論、薬方・処方類など漢方書から『解体新書』（存巻四）『全体新論』など蘭方・洋方書に及ぶ。産科・婦人科の類が最も多く約七〇点、次いで傷寒・金匱関係と処方書類がそれぞれ約六〇点を数える。

産科は賀川流が中心で、その祖賀川玄悦（子玄、元禄一三（一七〇〇）～安永六年（一七七七））の『子玄子産論』（明和二年（一七六五）刊）、該書を養子玄迪（有斎、元文四年（一七三九）～安永八年（一七七九））が補遺した『産論翼』（安永四年（一七七五）刊）などのほか聞書類が散見し、賀川家関係では『賀川玄悦老医口授』『産科手術省斎先生口授』『産科紀聞』など、賀川流門人では奥劣斎（安永九年（一七八〇）～天保六年（一八三五））の『産科啓秘録』『回生鉤胞秘訣』などがある。これらはすべて写本で伝わるもので、その諸本はみな多

少の異同があり、賀川流産科術の詳細を知る上で注視される。

傷寒関係にも希少なものもあり、刊本に堀川舟庵（生没年不詳）が安政三年（一八五六）に刊行した『翻刻宋版』傷寒論、写本に浅田宗伯（文化一二年（一八一五）～明治二七年（一八九四））の『傷寒論識』『傷寒雜病辨証』（嘉永六年（一八五三）自序）年、古矢知白（生没年不詳）『傷寒論正文復聖解』（写本）、川瀬元寛（生没年不詳）『傷寒論自解』などがある。峻斎は特に浅田宗伯に関心を持ち、著書など関係資料の収集にも意を注ぎ、『暴瀉須知』（明治一〇年（一八七七）刊）『勿誤藥室方函』（明治一三年（一八八〇）刊）なども見える。

処方集の類は、古方派・吉益流が中心で、吉益東洞（元禄一五年（一七〇二）～安永二年（一七七三））の『類聚方』（明和元年（一七六四）刊、雉間煥『類聚方集覽』（享和三年（一八〇三）序刊）、また『類聚方序解』、池口達徳『類聚方掌故』（弘化三年（一八四六）序）など伝本のまれな写本がある。

これら医書類全体の特徴のひとつに重複本がある。たとえば産科書では賀川玄悦（子玄）『子玄子産論』は一〇点、『産論翼』は五点の副本があり、また吉益東洞の『類聚方』には明和元年（一七六四）版が四点、寛政一一年（一七九九）版が二点ある。これらは峻斎、あるいは先代が講義をするための教本とその副本だったとも考えられる。またひとつに綴じの外された線装本が多く見られるが、これらは古典医書復刊のためのもの

であったとみられる。

今回は、これら医書類について目録とした。

凡例

一、本目録は、佐久間峻斎旧蔵資料のうち、医書類三二五点についての目録である。

一、分類については、中国歴代正史の藝文志、経籍志、また多紀元胤『医籍考』、渋江抽斎・森立之『経籍訪古志』、及び『内閣文庫漢籍分類目録』『内閣文庫国書分類目録』等を参考に、所蔵資料の傾向、構成を鑑み、以下の通り、独自に立項した。

一、医経

二、本草

三、経脈

(一) 経脈 (二) 鍼灸

四、傷寒・金匱

(一) 傷寒 (二) 金匱 (三) 温疫

五、医方・医論・医説

六、産科・婦人科・小児科

(一) 産科 (二) 婦人科 (三) 小児科

七、外科

八、疹科・痘科

九、梅毒

一〇、諸科

一一、解剖

一二、薬物・薬方・処方

一三、名義・書目・史伝

一四、蘭方・西方

一五、近代

一、排列については、漢籍（唐本、和刻本）、和書（日本出版書）の別なく、各資料の内容別にし、同項目内は、原則として編著者の生年、または成立年代の順とし、注釈資料については、その原本に続けた。

一、日本人による漢籍注釈資料の排列については、原則としてはじめに原文所載の注釈資料、次に国字解等和文の注釈資料の順とした。

一、表記は、原表記に関わらず常用漢字体に統一した。

一、各資料の書誌事項は、第一行に、書名・巻数、編著者事項、成書事項、冊数、整理番号、第二行以降にその他特記事項を記した。

一、書名は、原則として内題（巻頭題）より定め、明記されていない場合は、外題、或いは著述内容等により定めた。

一、編著者事項は、本文巻頭の編著者記載事項により、漢籍、

及び漢籍和刻本については、原本表記に関わらず、朝代、或いは国名を冠した姓名、続いて著述項目について著述者は「撰」、編者は「輯」、その他、校注者等は「校」「訂」「注」等と附し、邦人著作については、原則として原本の本文巻頭より編著者事項の表記通りに記載し（除、地名）、異名等の場合は適宜（ ）内に字号等通行の名を補った。本文巻頭に明記されていない場合は、序跋等により適宜定めた。

一、出版事項における江戸期の出版者に冠した地名表記のうち、江戸、京都、大坂については、原本表記に関わらず、「江戸」「京都」「大坂」に統一した。

一、本文の漢文和文の別については、和文の場合のみ特記した。

一、括弧、記号については以下の通り。

・□：判読不能文字 ・〈〉：小字 ・〔 〕：推定事項
・（ ）：補足事項 ・／：改行 ・—：上項、下項の別

一、印記の形態表記について、佐久間家の蔵書印については個々に記載せず、同様の形態ごとにまとめて記載した。

例：「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」（朱文正方印）。

一、医経

黄帝内经靈枢一二卷黄帝内经素問遺編一卷 浙江書局彙刻書之

一 民国年間育文書局石印本 一冊 1

印記「佐久間／医院」（朱文正方印）又「峻斎／秘笈」（朱文正方印）紙片貼付。

重広補註黄帝内经素問二十四卷（存卷一一、一二、一九、二〇）

○ 新刊黄帝内经靈枢二四卷（存自卷一至四、自二一至二

四）唐王冰注素問 宋林億等奉勅校正 宋孫兆改誤 明熊

宗立句読 宋史崧音釈靈枢（日本吉弘玄仍訓点）江戸期摺

明（万曆一二年（一五八四））繡谷周氏校刊本重刊 四冊

2

靈枢卷一首題次行に「繡谷書林周曰校重刊」とあり。外題

（題箋）「内经素問〈次註／新校正〉」。各冊裏表紙に「藤田元厚」と書入あり。印記「佐久間／医院」（朱文正方印）、他不

明印一顆。第四冊裏表紙に住所票「東京都文京区駒込浅嘉町

七四番地／東洋大学校医 佐久間洋行／電話（821）二九二五

番」貼付。

重広補註黄帝内经素問二四卷新刊黄帝内经靈枢二四卷 唐王冰

注素問 宋林億等奉勅校正 宋孫兆改誤 明熊宗立句読 宋

史崧音釈靈枢（日本吉弘玄仍訓点）寛文三年（一六六三）

跋拋明万曆一二年（一五八四）繡谷周氏刊本重刊 一八冊

3

靈樞卷一首題次行に「續谷書林周日校重刊」とあり、見返し「新刊官板補註／万曆甲申夏月周氏对峰刊行／黄帝内经素問」、外題（題箋）「内经素問〈次註／新校正〉」。印記「井上／円了」（朱文花形円印）「甫水井／上氏蔵」（朱文長方印）。井上円了（一八五八～一九一九）旧蔵。

黄帝内经素問二四卷（存自卷三至五、自九至二四）明吳崑註
江戸期拠（元禄六年（一六九三）京都吉左衛門刊本）後印
存六冊 4

外題（題箋）「内经素問吳註」、版心題「内经吳註」。
校勘和訓黄帝素問 丸山昌朗著 昭和三八年（一九六三）黄帝
素問刊行会油印本 三冊 5
和文。

素問靈樞類纂約註三卷 清汪昂編 清汪桓校 清康熙二八年
（二六八九）序上海文瑞樓後印本 二冊 268
封面「黄帝素問／靈樞合纂」（裏）「上海／文瑞／樓印」。

二、本草

增訂本草備要二卷（存卷上）増薬性総議一卷 清汪昂撰 清汪
逢楫訂 清男汪端等校 日本藤井見隆訓点（享保一四年
（一七二九）京都植村藤治郎刊本 存一冊 6

見返し「休寧汪訊庵先生著輯〈医家宝典／開卷藥鏡〉／増訂本草備要／〈雷真君活人方／喻氏寓意艸／痘疹金鏡録〉嗣出京師書房 植村玉枝軒梓行」。
卷懷食鏡 貞庵香月牛山 正徳六年（一七一六）序柳枝軒汲古堂刊本一冊 171

見返し「牛山香月先生輯述／卷懷食鏡／京兆書舖〈柳枝軒／汲古堂〉全刻」。印記「佐久間／医院」「佐久間／氏／家蔵」（朱文正方印）「佐久間」「千葉県茂原市高師／向陽堂佐久間医院／佐久間洋行」「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。

三、経脈

(一) 経脈

十四経發揮三卷 元滑寿撰 元薛愷校 延宝三年（一六七五）松会刊本 一冊 9

刊記「延宝三（乙／卯）歳六月吉日」「松会開板」、有図。表紙に朱筆にて「雑第百八十号」、表紙裏に墨筆にて「木形主」と書入あり。印記「佐久間／氏／家蔵」「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「佐久間」「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。

十四経發揮三卷 元滑寿撰 元薛愷校 貞享元年（一六八四）

西村市郎衛門等刊本（傍訓本） 一冊 10

刊記「貞享元曆／子九月上浣日一書林 文台屋次郎兵衛／敦賀屋弥兵衛／永田長兵衛／西村市郎右衛門、有図。外題（題簽）「十四経〈片仮名付〉文字図改正」。印記「佐久間」

「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。

十四経發揮三卷 元滑寿撰 元薛愷校 宝永六年（一七〇九）

芳野屋権兵衛刊本 一冊 11

刊記「宝永六載九月吉日／柳馬場通二条下町／芳野屋権兵衛、有図。外題（題簽）「〈新板〉大字」十四経發揮。「寿

足軒／金斑山 堂也」と書入あり。印記「村上通泰」（朱文

長方印）「佐久間」「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱

文長方印）「峻斎／秘笈」（朱文正方印）。

十四経發揮三卷 元滑寿撰 元薛愷校 享保元年（一七三六）

須原屋平助刊本 一冊 12

刊記「享保元丙申年季秋 須原屋平助刊行、有図、外題

（書題簽）「〈新／刻〉十四経發揮 全」。印記「増田／弘斎」

（朱文正方印）。

十四経發揮三卷 元滑寿撰 元薛愷校 江戸期刊本（傍訓本）

一冊 13

有図。印記「佐久間／氏／家蔵」（朱文正方印）「佐久間」

（朱文長方印）。

十四経發揮三卷 元滑寿撰 元薛愷校 享保一六年長村半兵衛

等刊本（傍訓本） 七冊（原一冊） 14

有図。印記「佐久間／医院」「佐久間／氏／家蔵」（朱文正方印）。

綴じを開き、七部に改装。

十四経發揮（箋註）三卷（存卷上） 元滑寿撰 元薛愷校 日

本衡山幸珉箋註 雨島玄琢等校（文化三年（一八〇六）大

坂勝尾屋六兵衛等）刊本 存一冊 15

序首「十四経發揮箋註」、卷一首「十四経發揮」、版心下部

「終始堂」、有図。

十四経鍼灸治法 闕名撰 江戸期刊本 一冊 16

和文。印記「□／重」（朱文長方印）「洋」（白文正方印）。

「十四経發揮附十四経鍼灸治法」の「治法」部分の綴じを

開いた綴本。

十四経穴歌 闕名撰 江戸期写本 一冊（仮綴本） 17

脈訣刊誤集解二卷 元戴起宗撰 文政一三年（一八三〇）荒川

陸一雲写本 一冊 7

嘉靖四年（一五二五）序（刊戴教授脉訣刊誤朱丹溪脉訣

図説序）末「嘉靖乙酉春三月既望蘭溪模庵章拯書」あり、

原刊記「嘉靖十八年秋八月孫氏較正重刊」の移写あり。識語

（書末）「文政十三寅夾鐘吉日／荒川陸一雲謹書」（白文長方

印「陸一雲」。外題（題簽）「脈訣刊誤集解」。

脈訣攷證一卷奇経八脈考一卷 明李時珍撰 江戸期刊本 一冊

8

外題(題箋)「脈学奇経」、首「重刻脈学奇経八脈序」。印記「峻斎／秘笈」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。

脈法私言 浅田惟常著 黒岩静山・山辺三子校 明治一四年

(二八八二) 序輔仁社活字印本 一冊 262

見返し「栗園雜著之一／脈法私言／輔仁社活版」。印記「佐久間」千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)。

綴じが外されている。

(二) 鍼灸

仿宋古本彩印全図鍼灸大成附人身全体第一副 楊詣州 民国期

上海大文書局發行所排印本 一冊 163

有図。印記「佐久間／医院」(朱文正方印)「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)「佐久間」(朱分楕円印)

○ 異人秘授五極灸(秘授五極灸) 後藤艮山伝 江戸期写本 一冊

160

末題「五極灸訣 畢」又「右 後藤艮山先生之著也」朱筆書入あり。後装表紙打付書(峻斎筆)「秘授五極灸」。印記「峻斎／秘笈」「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)、仮綴本の

綴じが外されている。

灸譜 闕名 江戸期写本 一冊 165

有図。印記「峻斎／秘笈」「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)。

新撰広狭神俱集 〔雲棲子著 石坂宗哲校〕 江戸期写本 一冊

(仮綴本) 161

和文。印記「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)。

新撰広狭神俱集 〔雲棲子著 石坂宗哲校〕 文化一五年(一八

一八) 田中竜伯・大関至誠写本 一冊(仮綴本) 162

和文、有図。書写識語「時文化十有五次著薙撰提格蔵／三月廿有一日夜写給者也／田中竜伯用写之／大関至誠写之」、

印記「佐久間／医院」「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)。

選鍼三要素集二卷 杉山和一著 明治二〇年(一八八七) 明石塾亮活字印本 一冊 166

見返し「前惣檢校杉山和一著／選鍼三要素／明石塾亮(蔵／版)」。療治之大概集 杉山和一著 明治二〇年(一八八七) 明石塾亮活字印本 一冊 167

見返し「前惣檢校杉山和一著／療治之大概集／明石塾亮(蔵／版)」。療治之大概集 杉山和一著 明治二〇年(一八八七) 明石塾亮活字印本 一冊 167

鍼灸術原理及手術法附沿革史 車戸喜保編纂 大正一二年（一

九二二）大日本鍼灸師会排印本 一冊 164

有図。印記「佐久間／氏／家蔵」（朱文正方印）「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。

四、傷寒・金匱

（一）傷寒

康平傷寒論 漢張機撰 晋王叔和撰次 大塚敬節校註 昭和一

二年（一九三七）日本漢方医学会出版部排印本 一冊 18

外題（題簽）・目錄題・版心題「康平傷寒論」。印記「峻齋／秘笈」「洋」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）。

（康治本）傷寒論 漢張機撰 嘉永三年（一八五〇）写本影照
一冊 26

書写識語「于時／唐 貞元乙酉歲写之／康治二年亥九月書

写之／沙門了純」又「上州縁楚群ヲ法浄寺村御嶽永源寺僧天外秘蔵／下総豊田上阪村人三好省斎騰／写之／同藩侍医川口道

斎抄録之／嘉永三年庚戌冬十月織田貫／書（見消「写之」）載霞園、印記「井上／氏」「井上頼因蔵」「無窮会／神習文

庫」（朱文長方印）。裏表紙に「丙午七月初四、鬼園兄所贈」（丙午＝昭和四一年（一九六六））と書入あり。

無窮会図書館神習文庫蔵本を紙焼き複写したもの。

（康治本）傷寒論 漢張機撰 日本戸上重較標註〔安政四年

（一八五七）京都著屋〕刊本電子複写 一冊 19

印記「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。表紙に峻齋により「康治本傷寒論」「峻齋自用」とあり。

安政四年（一八五七）刊本を電子複写して綴じたもの。

（康治本）傷寒論 漢張機撰 日本戸上重較標註 昭和四〇年（一九六五）日本民族医学研究所用安政五年著屋宗八等刊本影印 一冊 49

外題（題簽）「康治本傷寒論」、序首「康治本傷寒論序」、版面上層首「康治本傷寒論」下層首「傷寒論」。印記「峻齋／秘笈」「佐久間／氏／家蔵」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）。

（翻刻宋版）傷寒論一〇卷（存卷二、七至一〇） 漢張機述 晋王叔和撰次 宋林億等校正 明沈琳校 日本堀川濟点 安政三年（一八五六）江戸堀川氏親理葉室用楓山秘府蔵明趙開美覆宋本景刊 存一冊 22

安政三年（一八五六）丹波元堅「影刻宋本傷寒論序」あり、刊記「安政丙辰江戸／堀川氏開雕」。眉欄書入あり。印記「演知堂／臧書記」（朱文正方印）「三橋演知／堂圖書記」（朱文長方印）「浅野／氏／圖書」（朱文正方印）「峻齋／秘笈」（朱文正方印）。三橋通明旧蔵。

『傷寒論』一点を本冊、23、24の三部に改装。本冊は安政三年（一八五六）丹波元堅序以下前付、巻二巻頭から第九丁、巻七第八丁以下書末までを一点としたもの。無綴じ。

（翻刻宋版）傷寒論十卷（存巻一） 漢張機述 晋王叔和撰次
宋林億等校正 明沈琳校 日本堀川濟点（安政三年（一八五六））江戸堀川氏觀理藥室用楓山秘府蔵明趙開美覆宋本景刊 存一冊 23

封面「明趙清常原本／翻刻宋版傷寒論／觀理藥室蔵梓」。
眉欄書入多数、書入者未詳。印記「峻斎／秘笈」（朱文正方印）、後装表紙に「堀川濟校点「翻刻宋版傷寒論」（子持杵）安政三年出版（1856）」と峻斎記載あり。

『傷寒論』一点を本冊、22、24の三部に改装。本冊は封面、「傷寒卒病論集」（前付）、巻一のみを綴じ、峻斎により「堀川濟校点／翻刻宋版傷寒論（朱子持杵）／安政三年出版（1856）」と記載された表紙を付したものの。

（翻刻宋版）傷寒論十卷（巻二至七） 漢張機撰 晋王叔和撰次
（安政三年（一八五六））江戸堀川氏觀理藥室用楓山秘府蔵明趙開美覆宋本景刊 存一冊 24

外題（題簽）「傷寒論」。
『傷寒論』一点を本冊、22、23の三部に改装。本冊は巻二第十丁から巻七第七丁まで（22の闕部）で、原表紙とともに綴じられたもの。

輯印明趙開美影刻宋板傷寒論 漢張機述 晋王叔和撰次 宋林億等校正 明沈琳校 一九五九年重慶人民出版社排印本 二冊 25

輯印明趙開美影刻宋板傷寒論 漢張機述 晋王叔和撰次 宋林億等校正 明沈琳校 一九五九年重慶人民出版社排印本 二冊 296

（小刻）傷寒論 漢張機撰 晋王叔和撰次 享和元年（一八〇一）須原（屋）茂兵衛等刊本 一冊 20

版心下部「順安居蔵」、眉欄に書入者未詳の書入多数あり。印記「桑孫児弄下」（朱文変形円印）「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）他不明印一顆。

傷寒論 漢張機撰 晋王叔和撰次 江戸期刊本（順安居蔵版）一冊 21

版心下部「順安居蔵」、外題（題簽）「傷寒論（再刻）」。
（小刻）傷寒論（存序） 漢張機撰 晋王叔和撰次 江戸期刊本 一冊 29

明和八年（一七七二）朱筆書入あり。印記「佐久間」「千葉鼎茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。後装表紙に峻斎により「明和八年辛卯（1771）書入れ／「小刻傷寒論」（杵）序文／（家蔵本ヨリ切抜）」とあり。
峻斎が家蔵本より序部を抜き出し綴じたもの。

〔新校宋板〕傷寒論十卷首一卷 漢張機述 晋王叔和撰次 宋

林億等校正 日本稻葉元熙校 天保一五年（一八四五）刊本

存誠藥室藏版 一一冊 50

封面「天保甲辰冬鑄／新校宋板傷寒論／存誠藥室定本」、

卷十末「筑前稻葉元熙用晦謹校」。印記「二松學舎／附属図

書／館藏書印」（朱文正方印）「醉軒文庫」（朱文長方印）「峻

齋／秘笈」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）。橋川時雄

（二八九四～一九八二）旧藏。

綴じを外し、巻ごとにより一部に改装。

注解傷寒論十卷 漢張機撰 晋王叔和撰次 成無已注解 清光

緒六年（一八八〇）掃葉山房刊本 二冊 27

見返し「光緒庚辰重鑄（粹外上部横書）〈張仲景／成無

已〉先生〈著／注解〉／傷寒論／掃葉山房藏板」。

注解傷寒論十卷附傷寒明理論二卷 漢張機撰 晋王叔和撰次

成無已注解 清光緒六年（一八八〇）掃葉山房刊本 六冊

28 見返し「光緒庚辰重鑄（粹外上部横書）〈張仲景／成無

已〉先生〈著／注解〉／傷寒論／掃葉山房藏板」。印記「長

白喜／埴臘氏／熙彦藏／書之印」（朱文正方印）「熙彦藏本」

（朱文長方印）「佐久間／氏／家藏」「峻／齋」（朱文正方印）、

「佐久間」（朱文長方印）、帙裏書入「秦元亨藏」。

印記の喜塔臘熙彦は満洲正白旗人、字雋甫、光緒一八年

（二八九二）進士、光緒三二年（二九〇六）左丞、署左侍

郎、民国三年（一九一四）蒙藏院副総裁。帙裏の秦元亨は清

末の官僚、儒生。

註解傷寒論 漢張機述 晋王叔和撰次 宋成無已註 明王濟川

校正一九五五年上海商務印書館排印本 一冊 53

印記「峻齋／秘笈」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）。

○

傷寒類證三卷 仲景全書之一 漢張機撰 明趙開美編 万治二

年（二六五九）刊宝曆六年（二七五六）京都中野宗左衛門等

印本 一冊 34

刊記「万治貳（己／亥）曆夾鐘良日」。印記「峻齋／秘

笈」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）又表紙に朱文長

方印「千葉県茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋

行」紙片貼付。

傷寒論（正義）〔吉益南涯〕江戸期写本 一冊 36

用箋（版心下部「尚綱堂藏」）使用、外題（表紙打付書）

「吉益先生／傷寒論正義」。印記「山田」（朱文円印）

傷寒論輯義七卷（存卷二第一一〇丁至卷二末（第四冊）、卷四

第四五丁至卷四末（第八冊）、卷六至七（第一〇冊））丹波

元簡廉夫学 江戸期江戸英大助等後印本 存三冊 32

外題（題簽）「傷寒論輯義」。印記「佐久間／医院」（朱文

正方印）。

- 傷寒論述義四卷 皇漢医学叢書之一 丹波元堅学 一九五五年
 北京人民衛生出版社出版排印本 一冊 55
 印記「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。
 傷寒論述義四卷 皇漢医学叢書之一 丹波元堅学 一九五五年
 北京人民衛生出版社出版排印本 一冊 297
 印記「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。
 〔傷寒論序抄〕 伊藤東涯 香川秀庵（修庵） 安原温 江戸期
 写本一冊（仮綴本） 35
 首「傷寒論（伊藤東涯序／香川秀庵序）」、次「張仲景傷寒
 論自序集解叙」末「弘化二年乙巳孟冬中浣／北越 安原温謹
 叙」
 伊藤東涯、香川秀庵、安原温序の抄。
 張仲景傷寒論自序集解 伊藤馨子徳（鳳山）氏学 江戸期写本
 一冊 31
 外題（表紙打付書）「張仲景傷寒論自序集解」、眉欄に書入
 多数、喜多村直寛（『傷寒論疏義』か）多引。印記「千葉県
 茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。
 仮綴本の綴じが外されている。
 傷寒論手引草 烏巢道人（加藤謙斎）講述 加藤玄順録 佐藤
 宗哲校 安永六年（一七七七）京都山本長兵衛・林権兵衛大
 坂浅野弥兵衛刊本 一冊 30
 和文。外題（題簽）「傷寒手引艸」。印記「峻斎／秘笈」
 （朱文正方印）。
 傷寒論名数解五卷 中西惟忠子文甫（深斎）著 鷹取惟恭碩菴
 等校 卷一二江戸期写卷三至五安永三年（一七七四）京都山
 本長兵衛等刊本 四冊 39
 外題（書題簽）「傷寒名数解」。印記「甫庵／蔵書」（朱文
 長方印）「峻斎／秘笈」（朱文正方印）。
 傷寒論辨正六卷 中西惟忠子文甫（深斎）著 江戸期写本 三
 冊 40
 朱点、朱筆書入あり。第二冊首下部に朱筆にて「此一冊非
 我所模写」と書入あり。印記「佐久間／医院」（朱文正方
 印）「千葉県茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋
 行」（朱文長方印）。
 傷寒論辨正六卷 中西惟忠子文甫（深斎）著 森安城再校 江
 戸期写本 六冊 41
 外題（題簽）「辨正」。印記「佐久間／医院」（朱文正方
 印）「佐久間」（朱文長方印）。
 傷寒論国字辨十一卷 浅野徽元甫著 江戸期京都出雲寺和泉掾
 後印本五冊 33
 和文。印記「両全／文庫」（朱文正方印）「峻斎／秘笈」
 （朱文正方印）。識語「昭和廿一年六月廿三日於中野駅前書
 店」又「両全行著」。安西安周（二八八九～一九六九）両全
 文庫旧蔵。

傷寒論藥品体用（傷寒藥品体用） 川越正淑大亮（衡山）著

江戸期写拠寛政九年（一七九七）刊本 一冊 37

表紙書入「共三十五冊」。

簡易傷寒論正文解・簡易傷寒論活用辨 北条思道恭黙（若斎）

著正文解 若斎先生口授篠崎多仲識活用辨 享和三年（一八〇三）跋刊本 一冊 44

見返し「北条若斎著／簡易傷寒論／（簡易傷寒論活用辨

附録）／簡易堂藏」。後装表紙打付書（峻斎筆）「簡易傷寒

論」（朱子持ち杵）又「北条若斎著」、印記「峻斎／秘笈」

（朱文正方印）「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長

方印）。

簡易傷寒論

北条若斎考訂 村田言庵校 「享和三年（一八〇三）」刊本 一冊 51

印記「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）

綴じを外し開き、峻斎による本書の注記を記した表紙を付

したものを。

傷寒論対證便覧 鶴洲最里幹公濟編註 文政二年（一八一九）

写本 一冊 42

外題（峻斎筆後補題簽）「傷寒論対證便覧」、首「題傷寒対

證便覧首」（末「文化丁卯臘月廿五日書于狷乎堂／最里幹公

濟」〈丁卯〓四年（一八〇四）〉、次「傷寒対證便覧」、書写識

語「文政己卯仲秋念九日膳〈通計五／十三葉〉」（書末）、用

箋（版心下部「窠園藏」）使用。印記「慎術无□」（朱文長方

印）「佐久間／氏／家藏」（朱文正方印）「洋」（白文長方印）

「佐久間」「千葉県茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間

洋行」「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。

「窠園藏」の用箋は『傷寒管見』（43）『医事傍観』（234）に

も使用（ただし『医事傍観』は無界）され、『医事傍観』に

は印記「慎術天口」もあり。綴じが外されている。

傷寒管見 鶴洲最里幹公濟註 文政二年（一八一九）写本 一

冊 43

外題（峻斎筆後補題簽）「傷寒管見」、序題「傷寒管見叙」

（末「文化丁卯臘月廿五日書于狷乎堂／最里幹公濟」〈丁卯〓

四年（一八〇四）〉、次「仲景自序考」、次「名義或問」。文化

四年（一八〇七）鶴洲識語あり（末「文化丁卯秋九月初五夜

猪乎狷乎堂幹謹識」）、書写識語「文政二（己／卯）八月十七

夕写〈通計三十／二葉〉」（書末）、用箋（版心下部「窠園

藏」）使用。印記「圓爾道／方爾徳」（白文長方印）「佐久

間／医院」「佐久間／氏／家藏」（朱文正方印）「洋」（白文長

方印）「佐久間」「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文

長方印）。

「窠園藏」の用箋は『傷寒論対證便覧』（42）『医事傍観』

（234）にも使用（ただし『医事傍観』は無界）。綴じが外され

ている。

傷寒論要解序 窪木清淵 (久保木竹窓) 著 文政二年 (一八

二八) 成立 写本電子複写 一冊 52

首「贈問宮倫宗序／伊能忠敬」末「文化辛未年仲冬 伊能

忠敬」(辛未 \equiv 八年 (一八一 \equiv)) 次「傷寒論要解序／窪木

清淵」末「文政戊子季秋 窪木淵書」(戊子 \equiv 一年 (一八

二八))。後裝表紙打付書 (峻斎筆) 「久保木竹窓稿／傷寒論

要解序」、印記「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長

方印)。

写本の電子複写を綴じて表紙を付したものの。

傷寒論自解二卷 川瀬仲栗元寛自解 江戸期写本 一冊 38

外題 (原表紙打付書) 「川瀬元寛傷寒論自解」。印記「峻斎

／秘笈」(朱文正方印) 「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」

(朱文長方印)。

傷寒論正文復聖解附異名十五湯 剛斎古矢知白 江戸期写本

一冊 (横長本) 45

外題 (題簽) 「傷寒論正文復聖解 (附異名十五湯)」。

易の思想によって『傷寒論』を説いた古矢知白の自著『復

聖正文傷寒論』の注解で、文久三年 (一八六三) に刊行され

るが、本写本はそれとは異なる新出資料。

正文傷寒論復聖辨二卷 剛斎古矢知白輯 用弘化三年 (一八四

六) 写 (日本食薬研究所) 影印本 二冊 46

印記「峻斎／秘笈」(朱文正方印) 「佐久間」 「千葉県茂原

市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)。

『傷寒論正文復聖解』を漢字片かな混じりの和文で詳解し

たもの。

傷寒雜病類方 喜多村直寛士栗編 柏原公均校 嘉永五年 (一

八五二) 跋刊本 一冊 242

封面「嘉永壬子新鐫／傷寒雜病類方／学君堂藏版」。印記

「佐久間／氏／家藏」(朱文正方印) 「佐久間」(朱文長方印)。

傷寒論識六卷 浅田惟常 (宗伯) 識此甫著 江戸期写本 四冊

47

外題 (表紙打付書) 「傷寒論識」又第一冊「第一卷」第二

冊「太陽中／太陽下」第三冊「自太陽下篇／至陽明篇」第四

冊「太陰少陰厥陰／差後勞復篇」。朱筆書入あり、卷四末朱

筆「清川元策藏」。裏表紙書入「乙葉氏藏」。印記「乙葉藏／

書之章」(朱文長方印) 「佐久間／医院」 「佐久間／氏／家

藏」 「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。

「乙葉藏／書之章」は『勿誤藥室方函口訣』(256) 『治瘟

編』(248) にもあり。

傷寒翼方 浅田惟常識此甫著 江戸期写本 一冊 243

外題 (表紙打付書) 「傷寒雜病翼方」。印記「佐久間／医

院」 「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。

傷寒辨術 浅田惟常著 弘化四年 (一八四七) 江戸須原屋茂兵

衛等刊本 一冊 245

- 見返し「栗園浅田先生著／傷寒辨術／勿誤藥室藏」、末に「栗園浅田先生著述目錄」あり、奥付「弘化四年丁未五月／發行書林〈京都三条通堺町〉出雲寺文次郎／〈大坂安堂寺町五丁目〉秋田谷太右衛門／〈同 九之助橋壺丁目〉秋田屋良助／〈江戸日本橋通壺丁目〉須原屋茂兵衛。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。
- 傷寒雜病辨証二卷(存卷上) 浅田惟常識此甫著 嘉永六年(二八五三)年序 江戸期写本 存一冊 244
- 嘉永六年(二八五三)年自序あり。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」(朱文正方印)「千葉県茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」(朱文長方印)。
- 傷寒論大意二卷 沢田貞致道選述 明治元年(一八六八) 跋刊本 二冊 48
- 明治元年(一八六八) 自跋あり。見返し「慶応丁卯新鐫(梓外上部横書) 曲肱沢田良敬撰述／傷寒論大意／自脩館藏」(丁卯〓三年(一八六七))。和文。印記「佐久間／氏／家藏」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。
- 佐久間医院／佐久間洋行(朱文長方印)。
- 〔傷寒論藥名考〕 小野蘭山原著 武藤方華校正 昭和五五年(一九八〇) 東京漢方医学会油印本 一冊 263
- 首「傷寒論」、和文。書套「昭和五十五年仲秋／藥名考(小野蘭山原著／武藤方華校正／東京漢方医学会刊)」。
- 傷寒論語釈 任応秋編著 一九五九年上海科学技术出版社出版 排印本一冊 61
- 図画一葉挿入、「昭和三十七年十月六日医学のあゆみ(北里信太郎筆)」とあり。
- 新校宋本傷寒論歌訣 宋錢聞礼著 一九六四年香港太平書局排印本 一冊 54
- 印記「佐久間」(朱文長方印)。
- 傷寒論研究 藥奩医学叢書第二輯之一 惲鉄樵著 民国五八年(一九六九) 台北旋風出版社排印本 一冊 56
- 附「群經見智録」(藥奩医学叢書第二輯之二)。
- 傷寒論語釈 闕名 一九六九年香港医業衛生出版社出版排印本 一冊 59
- 傷寒論講義 中医学院試用教材重訂本 成都中医学院主編 一九七三年香港医業衛生出版社出版排印本 一冊 58
- 傷寒論講義 附傷寒方講義・傷寒方法 中国医業叢書之一 包識生著 民国六四年(一九七五) 台北旋風出版社排印本 一冊 60
- 傷寒論類方彙參 左季雲著 民国六五年(一九七六) 楽群出版社 事業有限公司排印本 一冊 57

(二) 金匱

金匱要略三卷 漢張機撰 晋王叔和撰次 天明八年(一七八

三) 京都文泉堂林権兵衛拋寬保三年(二七四四) 刊本重刊

一冊 62

版心下部「順受居」、刊記「寛保三年癸亥三月原刻/天明

八年戊申六月再刻/平安書肆 文泉堂林権兵衛」。外題(題
簽)「金匱要略 再刻」。書入多数(書入者未詳)、印記「佐

久間/医院」「峻斎/秘笈」(朱文正方印)。

金匱要略三卷 漢張機撰 晋王叔和撰次 文化三年(一八〇

六) 京都諸仙堂刊本 一冊 63

版心下部「順受居」、刊記「寛保三年癸亥三月原刻/天明

八年戊申六月再刻/文化三年丙寅正月新刻/平安書肆 諸仙
堂藏板」。外題(題簽)「金匱要略 新刻」。書入多数(書入
者未詳)、印記「佐久間/医院」「峻斎/秘笈」(朱文正方印)。

金匱要略(金匱句解)〔漢張機撰〕 闕名句解 江戸期写本

一冊 64

外題(題簽)「金匱句解」(峻斎筆)、内題(卷首)「金匱要

略」。印記「元不/印享」(「元不享印」白文朱文長方印)「佐
久間/氏/家藏」「峻斎/秘笈」「峻/斎」(朱文正方印)「佐

久間」「千葉県茂原市/高師/佐久間洋行」(朱文長方印)。

金匱要略集成 山田正珍宗俊著 江戸期写本電子複写 一冊

65

東京国立博物館所蔵『金匱要略集成』の電子複写を大学
ノートに貼付し、各丁校異を書入れたもの。表紙に「金匱要
略集成/山田正珍著/佐久間洋行校/本書流布稀罕。家蔵
本、今、東京国立博物館本を以て校行」と峻斎記載あり。

○

長沙證彙 皇漢医学叢書之一 田中榮信愿仲編選 村尾茂喬維
遷等校一九五五年北京人民衛生出版社出版排印本 一冊 301

『傷寒論』『金匱要略』を再編したもの。原本の『長沙正経
証彙』は寛政三年(一七九二)に刊行される。

雑病辨要三卷附雑病補亡論 浅田惟常識此著 服部方行子執輯

浅田惟常識此校雑病補亡論 明治一四年(一八八二)活字

印本(如春医院藏版) 三冊 246

見返し「明治十四年活版(梓外上部横書) 栗園浅田先生著

／雑病辨要(補亡論附)／如春医院藏」。印記「佐久間/医
院」(朱文正方印)。

『金匱要略』注解書。版本は安政三年(二八五六) 初版。

雑病辨要三卷附雑病補亡論(存卷上) 浅田惟常識此著 明治

一四年(一八八一) 活字印本(如春医院藏版) 存一冊 247

見返し「明治十四年活版(梓外上部横書) 栗園浅田先生著
／雑病辨要(補亡論附)／如春医院藏」。印記「鈴木氏/所

蔵記」(朱文長方印)。

『金匱要略』注解書。版本は安政三年（一八五六）初版。

(三) 温疫

温疫論二卷 明呉有性撰 日本荻野元凱校 嘉永七年（一八五

四）京都辻本仁兵衛等拠清劉敞校本重刊 二冊 66

卷首編著者事項に「儀真劉敞方舟校梓」とあり、奥付「明

和七庚寅歲五月原刻／天明八戊申歲十月再刻／嘉永七甲寅歲

正月三刻／書肆 東都 芝神明前／佐久間嘉七／浪華 心齋

橋二町目／松村九兵衛／京師 三条通柳馬場東角／辻本仁兵

衛（白文正方印）尚書／正舖）／寺町通仏光寺下ル丁／辻

本儀兵衛、見返し「嘉永寅三刻（梓外上部横書）台州荻先

生校正／温疫論（全部／二卷）／皇都書肆（尚書堂／尚德

堂）梓、外題（題簽）「温疫論 三刻 乾（坤）」。印記「峻

齋／秘笈」（朱文正方印）。

五、医方・医論・医説

重刊巢氏諸病源候総論五〇卷（存卷六至一〇、二一至二五、三

六至五〇） 隋巢元方等奉勅撰 宋趙拱等校 正保二年（一

六四六）梅村弥右衛門刊本 存五冊 67

刊記「正保二（乙酉）孟春／梅村弥右衛門版」。印記「佐

久間／医院」（朱文正方印）「千葉稟茂原市高師／向陽堂 佐

久間医院／佐久間洋行」（朱文長方印）。

医経源洄集 元王履撰 明呉勉学校 一九五六年人民衛生出版

社出版影印本 一冊 73

印記「佐久間」（朱文長方印）。

格致余論一卷 元朱震亨撰 寛文九年（一六六九）京都中村五

兵衛刊本 一冊 72

刊記「寛文九（己／酉）歲孟正日／寺町二条下町／中村五

兵衛開板刊本」。書人多数。

医方大成論一卷 元孫允賢撰 江戸期刊本 一冊 68

朱墨書入れ多数。印記「荒川／蔵書」（朱文正方印）。

医方大成論一卷 元孫允賢撰 貞享五年（一六八八）須原屋茂

兵衛刊本 一冊 69

刊記「貞享五年辰 須原茂兵衛刊本」。印記「号／石上」

（朱文正方印）「雄／印」（白文正方印）。

医方大成論一卷 元孫允賢撰 貞享五年（一六八八）須原屋茂

兵衛刊本 一冊 70

刊記「貞享五年辰 須原茂兵衛刊本」、外題（題簽）「改正

大成論」。

医方大成論一卷（傍訓） 元孫允賢撰 天和二年（一六八二）

拋宗文書堂刊本重刊 一冊 71

刊記「天和二年（壬／戌）九月吉日」、首「南北経験医方

大成」下部「宗文書堂〈新／刊〉」。

王宇泰先生訂補古今医鑑一六卷(存卷一一、一二、一五) 明

龔信編 明龔廷賢統編 明王肯堂訂補 (寛文一二年(一六

七二) 京都前川勘右衛門等) 刊本 存三冊 75

印記「貫齋」(朱文長方印)「佐久間／医院」「峻斎／秘

笈」「峻／齋」(朱文正方印)。

沈氏尊生書三〇卷首二卷(存卷一至六、一一至一七、二三至三

〇) 清沈金鰲撰 清刊本 存八冊 74

卷一至六「婦科玉尺六卷」、卷一一至一七「雜病源流犀

燭」、二三至三〇(同前)。

增評童氏医方集解二三卷 清汪昂撰 李保常批点 費伯雄評

清光緒三〇年(一九〇四) 上海六藝書局石印本 四冊 78

刊記「甲辰初夏上海／六藝書局石印」(封面裏)、封面「增

批医方／集解」。印記「佐久間／医院」(朱文正方印)。

張氏医通一六卷首一卷(存首卷) 清張路玉撰 清康熙四八年

(二七〇九) 序同德堂刊本 存一冊 76

見返し「呉門張路玉先生纂述(千金方衍義刪出)／張氏医

通／同德堂梓行」。

医通纂要四卷首一卷 清張路玉著 滕(加藤)謙齋纂要 滕

(加藤)玄順校正 安永五年(一七七六) 大坂河内屋喜兵衛

吉文字屋市兵衛 刊本 一冊(横長本) 77

刊記「浪華書肆 心齋橋北久太良町 河内屋喜兵衛／浪華

書坊 心齋橋南第四街 吉文字屋市兵衛」「安永五(丙／

申)年春三月發行／浪華書肆(積玉圃／定榮堂)全梓」、未

に「積玉圃医書蔵版目録」あり。印記「佐久間／医院」「佐

久間／氏／家蔵」(朱文正方印)「千葉泉茂原市高師／向陽堂

佐久間医院／佐久間洋行」(朱文長方印)、「佐久間」(朱文

円印)。

御纂医宗金鑑九〇卷(外科一六卷内科七四卷) 首一卷 清李毓

等奉勅撰 (民国期) 上海錦章書局石印本 二〇冊 79

「医宗金鑑外科」「医宗金鑑外科」各封面あり、刊記「上海

章福記／書局印行」、帙題簽「精校医宗金鑑全集(錦章書局

／印行)」。

医林改錯 清王清任撰 民国二五年(一九三六) 大新図書館排

印本 一冊 169

有図。印記「佐久間／医院」(朱文正方印)

医学三字経四卷 清陳念祖撰 陳元彪・陳元犀校 一九五六年

人民衛生出版社出版影印本 一冊 281

〇

合類増補済民記六卷(存卷六) 延寿院(曲直瀬玄淵) 延宝七

年(一六七九) 刊本 存一冊(横長本) 189

卷六首「合類増補済民記刊記」、版心題「増補済民記」、刊

記「延宝七(己未) 孟春穀旦 二条通／板行」、和文。末に

曲直瀬玄淵『済民記』三卷本と同じ天正元年(一五七三) 玄

朔跋また文禄三年（一五九四）玄朔跋「右一部三卷者依草庵玄澄之求而／拾遺増補附与之者也」あり。

医療手引草上編二卷 膝（加藤）謙斎鳥巢先生 男（加藤）玄順懿之校補 尾崎正龍校正著 宝暦一三年（一七六三）序刊本 二冊 191

見返し「烏巢道人謙斎撰／医療手引草上編／書舗 七星堂藏」、和文。

医事傍觀 万年散人（三宅石庵） 享保四年（一七一九）識語 弘化挺濃更衣月 松花園写本 一冊 234

享保三年（一七一八）万年散人序（末「享保戊戌冬十二月／平安万年散人於東関客中記」）、享保四年（一七一九）万年散人識語（末「己亥孟夏 万年散人記」）あり、書写識語「弘化挺濃更衣月 松花園騰」、用箋（版心下部「窠園藏」使用。印記「慎術无□」（朱文長方印）「惠／卿」（朱文正方印）「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」「佐久間／氏／家藏」（朱文正方印）「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）、他不明印一顆。

「窠園藏」の用箋は『傷寒対證便覧』（42）『傷寒管見』（43）にも使用（ただし他本は有界）され、『傷寒対證便覧』には印記「慎術无□」もあり。

一本堂行余医言二二卷（存三、七、九、二二、二二） 香川修徳太沖父著 江戸期刊本 存五冊 193

印記「佐久間／医院」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）。

医断「吉益東洞述」鶴（鶴田）冲元逸 宝暦九年（一七五九）序後印本 一冊 211

末に「平安 斯文堂藏書目録 二条通御幸町西入 林宗兵衛」あり。印記「稽医／館印」。

稽医館は水戸藩主徳川斉昭の侍医で同藩藩校弘道館教授本間棗軒（一八〇四～七二）の祖父本間玄琢が創設した医学研究所。

続医断 賀屋敬恭安著 文化八年（一八一）京都堺屋嘉七等刊本 一冊 212

刊記「文化八年辛未年八月／江戸 須原屋茂兵衛／大坂 秋田谷太右衛門／京 三河屋利兵衛／堺屋嘉七」、末に出版 広告「書林 京三条通寺町西入町 堺屋嘉七」あり。印記「斎藤／氏図／書記」（朱文正方印）「知困／書屋」（白文正方印）。

建殊録附録 東洞吉益先生 巖（巖溪）恭敬甫輯録 田（田中）栄信愿仲校閲 宝暦一三年（一七六三）京都林宗兵衛刊本 一冊 213

奥付「宝暦十三癸未歲十一月／皇都書肆 高倉通二条上ル町」林宗兵衛発行、見返し「東洞吉益先生医効略抄／建殊録（附録東洞鶴台／二先生書牘）／皇都 斯文堂発行」。

漫遊雜記二卷 永富鳳朝陽著 松士藏道遠校 藤元幹隆昌訂

文化六（一八〇九）大坂柳原喜兵衛等刊本 二冊 214

奥付「文化六年己巳二月吉辰再版／東都書林〈日本橋中

通新右衛門町〉前川六左衛門／京都書林〈二条通柳馬場〉

林伊兵衛／大坂書林〈心齋橋通北久太郎町〉柳原喜兵衛、

見返し「文化己巳再刻（梓外上部横書）独嘯庵先生著／漫遊

雜記／独嘯囊語／書肆 積玉圃」。

蕉窓雜話初編 東郭和田先生燕語 門人筆記 文政六年（一八

二三）京都林喜兵衛刊本 一冊 221

末に「帝都書屋文晝堂略目録 林喜兵衛」あり、奥付「文

政六年未秋／京都書肆〈三条通柳馬場西〉林喜兵衛、和

文。印記「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方

印）。

叢桂偶記二卷 南陽原昌克子柔著 寛政一二年（一八〇〇）序

江戸小林新兵衛刊本 二冊 232

奥付「門人 清水方敬／吉田尚／介川安崇 同校／：／東

都書肆 小林新兵衛發行」、見返し「南陽原先生著〈翻刻／

必究〉／叢桂偶記／（寛政一二年（一七九九）大谷恭識語

〈末「寛政己未仲春 門人 大谷恭識識」〉。印記「杏井／館

／藏書」（朱文正方印）「峻斎／秘笈」（朱文正方印）。

叢桂亭医事小言七卷（卷五、七闕） 原南陽先生口授 大河内

政存等筆記 丹彝等校正 「文政三年（一八二〇）跋」刊本

存六冊 231

見返し「南陽原先生口授 〈千里／必究〉／叢桂亭医事小

言／〈江都書肆 青藜閣／水戸書肆 東壁楼〉發」、和文。

印記「峯／忠」（白文正方印）「子／恕」（朱文正方印）「加寿

／軒藏」（朱文円印）「佐久間／医院」（朱文正方印）。

青洲先生檢証百問答（華岡）青洲答 文化七年（一八一〇）

野村鄂序 写本 一冊 270

文化七年（一八一〇）野村鄂序（末「文化庚午八月 備後

野村〈鄂〉謹識）あり、書末「此方紀州海岸御陳小屋

御士卒御手当」、用箋（版心下部「高安藏板」）使用。印記

「英／藏」（墨文円印、貸本屋印か）「峻斎／秘笈」（朱文正方

印）。

印記「英／藏」は『中条流本味口伝』（265）にもあり。

檢証百問 「華岡青洲・加藤謙斎答」 江戸期写本 一冊 228

方鑑口訣書 琴鶴松浦純逸著 男（松浦）逸成等校 江戸期大

坂河内屋茂兵衛等後印本 一冊 236

奥付「書林 京都寺町通仏光寺 河内屋藤四郎／江戸日本

橋通壹丁目 須原屋茂兵衛／（他七氏）／大阪心齋橋筋本町

角 河内屋藤兵衛／大阪心齋橋筋博勞町角 河内屋茂兵衛

版」、見返し「松浦琴鶴著／方鑑口訣書／觀濤閣藏板」、和

文。印記「佐久間／医院」（朱文正方印）。

方鑑秘伝集二卷 琴鶴松浦純逸著 天保一二年（一八四一）大

坂河内屋茂兵衛等後印本 二冊 237

奥付「書林 京都寺町通仏光寺 河内屋藤四郎／江戸日本

橋通壹丁目 須原屋茂兵衛／（他七氏）／大阪心齋橋筋本町

角 河内屋藤兵衛／大阪心齋橋筋博勞町角 河内屋茂兵衛

版）、見返し「松浦栞鶴著述／方鑑秘伝集／観濤閣蔵板」、和

文。第一冊裏表紙裏「十六年己午歳徳 金神」とあり。印記

「海洲氏」（墨文楯田印、貸本屋印か）「佐久間／医院」（朱文

正方印）。

積善堂難病治驗方二卷増積善堂難病治驗附録方 南部伯民先生

〔著〕 竹下憲文恭等〔録〕 桑田延年孟翼纂附録方 文政五

年（一八二二） 京都吉田屋治兵衛等刊本 二冊 235

刊記「文政五年（壬／午）春正月／江戸書林（日本橋通

一丁目）須原屋茂兵衛／大阪同（北久太郎町心齋橋筋東）

河内屋茂兵衛／京兆同（二条通堺町東）吉田屋治平兵衛）。

印記「峻斎／秘笈」（朱文正方印）、他不明印一類。

素靈一隅 谷其章 弘化三年（一八四六）序 谷其章自筆本

一冊 240

弘化三年谷其章自序あり（末「弘化丙午秋日谷其章元圭

撰」又朱文正方印「其／章」「可／貞」、書末に其章識語あり

（此書未定藁本也文字之錯置引証之差誤亦復不少其／観覧君

子冀垂刪正 其章記）表紙打付書「素靈一隅」又「谷其章

著」。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「佐

久間」（朱文長方印）。

草木居拔粹秘蔵 草木居元子岳撰 弘化二年（一八四六）写本

一冊 172

外題（原表紙打付書）「草木居拔粹秘蔵 完」又「甲巳

夏」、書末「弘化二年夏四月／草木居元子岳撰」又別筆書人

「間土山照□下瓦町河岸／家臣伊八店／寺門静軒」、用箋（版

心下部「松堂蔵）」使用。印記「佐久間／医院」（朱文正方

印）「千葉県茂原市高師／向陽堂／佐久間洋行」（朱文長方

印）。

療難百則 川瀬任子重質問 安政三年（一八五五）跋 写本影

照 一冊 267

安政三年（一八五五）尾台武跋あり、外題（書題簽）「療

難百則 完」、内題無し。印記「国立博／物館図／書之印」

（朱文正方印）。

東京国立博物館蔵本を写真複写したもの。

軒岐仲景無二途論二卷 丹波元琰 万延元年（一八六〇）跋成

立 写本 一冊 241

原表紙打付書「右雲從先生稿」、卷一末に安政五年（一八

五八）、卷二末に万延元年（一八六〇）の丹波元琰識語あり

（卷一末「安政戊午正月十二日 丹波元琰識」、卷二末「万延

辛酉正月丹波元琰識于存誠藥室」）。

医学啓源 皇漢医学叢書之一 今邨亮祇卿（今村了庵）著 一

九五五年人民衛生出版社出版 一冊 302

印記「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。

原本の版本は文久二年(一八六二)に刊行される。

見聞録 小石資行輯 江戸後期写本 一冊 227

和文。外題(表紙打付書)「元神斎見聞録」。印記「千葉県

茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」(朱文長方印)。

治瘟編附治瘟編補・治瘟編考証・暴瀉須知・警医記事 浅田惟

常識此甫著／男(浅田) 惟敦子誠・中山琳孟玉校 安政六年

(二八五六) 序刊本 二冊 248

奥付「発行書林 京都三条通堺町」／出雲寺文次郎／

〈大坂安堂寺町五丁目〉／秋田屋太右衛門／〈江戸日本橋通

壹丁目〉／須原屋茂兵衛／〈同芝神明前〉／岡田屋嘉七、

見返し「栗園浅田先生著／治瘟編／勿誤葯室蔵」(第一冊

「治瘟編」)「治瘟統録／警医記事／勿誤葯室蔵」(第二冊)、

一部和文。末に「栗園先生著述目録」あり。表紙裏に「乙葉

氏」と書入あり。印記「乙葉蔵／書之章」(朱文長方印)「峻

斎／秘笈」(朱文正方印)。

「乙葉蔵／書之章」は『傷寒論識』(47)『勿誤葯室方函口

訣』(256)にもあり。

暴瀉須知 栗園浅田惟常著 明治一三年(一八八〇)刊本(如

春病院蔵版) 一冊 249

見返し「明治十三年五月刊(粹外上部横書)栗園浅田先生

口述／暴瀉須知(附名義)／如春病院蔵、和文。250同版。

印記「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。

暴瀉須知 栗園浅田惟常著 明治一三年(一八八〇)刊本(如

春病院蔵版) 一冊 250

249同版。印記「峻斎／秘笈」「佐久間／氏／家蔵」(朱文正

方印)。

医学智環 勿誤葯室(浅田宗伯) 課程 授業門人等録 明治一

一年(一八七八) 浅田宗伯活字印本 一冊 258

奥付「明治十一年七月廿二日出版御届／同十一年七月廿五

日出版／〈著述兼／出版人〉浅田宗伯／(住所)。

259とは奥付版面相違。

医学智環 勿誤葯室(浅田宗伯) 課程 授業門人等録 明治一

一年(一八七八) 浅田宗伯活字印本 一冊 259

奥付「明治十一年七月廿二日出版御届／同十一年七月廿

五日出版／〈著述兼／出版人〉浅田宗伯／(住所)、印記

「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。

258とは奥付版面相違。綴じが外されている。

医学智環 浅田宗伯著 神林寛子譲校 東洋医学社編集部編

昭和二六年(一九五一) 東洋医学社 明治十一年(一八七

八) 活字印本油印 一冊 260

表紙献辞「謹呈／奥田先生」。

閑窓偶筆 浅田栗園先生閱 巳山垣内成章著〔明治十九年
(二八八六)〕活字印本 一冊 254

見返し「栗園浅田先生閱／閑窓偶筆／長春洞」、浅田宗伯
肖像あり。印記「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)「千葉県
茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)。
綴じが外されている。

栗園雜纂(養幼新編、黴毒懲毖録) (浅田) 栗園先生口授 黒
岩為寿編纂 浅田惟恭校 明治二十一年(一八八八) 跋活字印
本 二冊 253

見返し「黒岩為寿編輯／栗園雜纂／永類館蔵」。印記「佐
久間／医院」「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。
通俗医方捷徑二卷(存卷上) 寂然居士(浅田宗伯) 著 明治
二三年(一八九〇) 浅田恭悦活字印本 存一冊 80

見返し「通俗医／法捷徑／庚寅秋劉慶汾題」、和文。
後芻言 浅田惟常識此甫著 明治二八年(一八九五) 浅田恭悦
活字印本 一冊 252

書套「後芻言」(書套裏書人あり)。印記「峻／斎」「佐久
間／氏／家蔵」(朱文正方印)「洋」(白文正方印)。
〔浅田宗伯草稿〕〔浅田宗伯〕写本電子複写 一冊 261

末に峻斎識語あり「浅田宗伯先生自筆草稿 佐久間洋行識
(朱文正方印「洋」)／先生名、惟常、字、識此、号栗園。
(三月十六日)／文化十二年生於信州松本、明治二十七年歿

於／東京牛込、時年八十有二(1815-1894)。印記
「佐久間／医院」(朱文正方印)「佐久間」(千葉県茂原市／高
師／佐久間洋行」(朱文長方印)。
浅田宗伯の草稿の電子複写版。
知足斎永田先生遺稿 小松帶刀編 明治三四年(一九〇二) 小
松帶刀活字印本 一冊 217

内題(目次・版心)「知足斎永田先生遺稿」。印記「佐久間
／医院」。
皇漢医学 日本湯本求真編著 周子叙訳 一九五六年人民衛生
出版社出版排印本 一冊 308

印記「峻斎／秘笈」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。
医道便易和解(増補医道便易)〔平沢随貞撰 平沢左内校〕
文政八年(一八二五) 名古屋永楽屋東四郎等再刊本 一冊
283

序首「増補医道便易序」、版心題「増補医道便易」、奥付
「文政八年(酉) 正月再刻／京都書林 寺町通御池上ル／鉛
屋安兵衛／大阪書林 高麗橋壹丁目／藤屋弥兵衛／東都書林
日本橋新右衛門町／前川六左衛門／尾張書林 名護屋玉屋
町／永楽屋東四郎」、和文。後補題簽「増補医道便易」。印記
「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」(朱文正方印) また朱文長方
印「佐久間」紙片貼付。首題部分は空欄で、明和七年(一七

七〇）初版の首題「医道便易和解／東都 平沢随貞撰／平沢左内校」を記載した紙片を貼付。

増訂医道便易二卷 随貞平沢左内撰定 随龍平沢左仲増補 明治一四年（一八八一）朝野利兵衛刊本 一冊 284

刊記「明治十四年三月廿五日翻刻御届／同年九月出版／翻

刻出版人〈千葉県平民〉朝野利兵衛／（住所）／発売人〈東京府平民〉松邑孫吉／（住所）、見返し「平沢随貞先生著

述／平沢随龍先生増補」〈明治十四年／九月出版〉／〈増訂〉医道便易 全二冊／（刊語）北総書肆 正文堂梓、和

文、外題（題簽）「増訂」医道便易大成」。印記「佐久間／医院」（朱文正方印）。

六、産科・婦人科・小児科

（一）産科

経効産宝

清谷殷撰 一九五五年人民衛生出版社出版影印用清

光緒一四年（一八八八）重刊本 一冊 90

産育宝慶集方二卷 当帰草堂医学叢書初編之一 宋闕名撰 李

師聖等編 清丁丙校刊 清光緒四年（一八七八）錢唐丁氏当

帰草堂刊本 二冊 91

版心下部「当帰草堂」、刊記「光緒四年秋日／葉 濠叟署

検」。

産育宝慶方二卷 宋郭稽中撰 江戸期写本 一冊 92

外題（題簽）「産育宝慶方」。印記「源遵／之印」（白文正

方印）、「峻斎／秘笈」「峻／斎」（朱文正方印）「洋」（白文正

方印）。

衛生家宝産科備要八卷 十万卷楼叢書之一 宋朱端章撰 清光

緒一三年（一八八七）序帰安陸氏刊本 一冊 93

序首「重雕宋本衛生家宝産科備要叙」、刊語「長樂朱端章

以所蔵諸家産科／経験方編成八卷刻版南康郡／斎淳熙甲辰歲

十二月初十日」。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」「佐久

間／氏／家蔵」（朱文正方印）。

胎産救急方 元李辰拱撰 江戸期写本 一冊 94

表紙裏に「大海寺／圓理書」裏表紙裏に「香川／圓理書」

とあり。印記「瀬川／養和堂／文庫印」（朱分楕円印）「瀬

川」を囲んで上部に「養和堂」下部に「文庫印」。「峻斎／

秘笈」「佐久間／氏／家蔵」（朱文正方印）「千葉県茂原市／

高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。瀬川昌耆（一八五六～一

九二〇、元・千葉県高等学校医学部部長）旧蔵。

保産機要 明湯処士撰 明柯煇編 元禄五年（一六九二）京都

西村市郎右衛門等刊本 一冊 95

見返し「保産機要」。印記「峻斎／秘笈」「佐久間／氏／家

蔵」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）。

-
- 産科内術伝 闕名 江戸期写本 一冊 96
文化七年(二八一〇) 安立椿子美序あり。印記「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。
- 産科奥術伝 闕名 江戸期写本 一冊 97
印記「佐久間／医院」「洋」(朱文正方印)「千葉県茂原市 高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」(朱文長方印)。
- 子玄子産論四卷附録子玄子治験四十八則 賀川玄悦子玄著
男(賀川) 玄迪子啓 山脇格叔光校 明和二年(一七六五)
京都河南四郎兵衛等刊安永四年(一七七五) 印本 二冊 106
奥付「明和二年乙酉秋八月／京師書鋪(堀川仏光寺下ル町) 河南四郎兵衛／(同町) 河南喜兵衛 発行／東都(日本橋二丁目) 須原屋茂兵衛、見返し「安永乙未考訂／産論／平安濟世館藏版」(乙未〓四年(一七七五))。印記「峻斎／秘笈」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。
- 子玄子産論四卷附録子玄子治験四十八則 賀川玄悦子玄著
男(賀川) 玄迪子啓 山脇格叔光校 明和二年(一七六五)
京都河南四郎兵衛等刊安永四年(一七七五) 印本 二冊 107
106 同版。
- 子玄子産論四卷附録子玄子治験四十八則 賀川玄悦子玄著
男(賀川) 玄迪子啓 山脇格叔光校 明和二年(一七六五)
京都河南四郎兵衛等刊安永四年(一七七五) 印本 二冊 108
- 106 同版。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」(朱文正方印)「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)。
- 子玄子産論四卷附録子玄子治験四十八則 賀川玄悦子玄著
男(賀川) 玄迪子啓 山脇格叔光校 明和二年(一七六五)
京都河南四郎兵衛等刊安永四年(一七七五) 印本 二冊 109
106 同版。眉欄に朱墨書入詳密にあり、印記「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)。
- 子玄子産論四卷附録子玄子治験四十八則(附録末丁闕) 賀川玄悦子玄著 男(賀川) 玄迪子啓 山脇格叔光校(明和二年(一七六五) 京都河南四郎兵衛等) 刊本二冊 111
印記「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)。
- 子玄子産論四卷附録子玄子治験四十八則 賀川玄悦子玄著
男(賀川) 玄迪子啓 山脇格叔光校 明和二年(一七六五)
京都河南四郎兵衛等刊安永四年(一七七五) 印本 二冊 112
106 同版。
- 子玄子産論四卷附録子玄子治験四十八則 賀川玄悦子玄著

男（賀川）玄廸子啓 山脇格叔光校 明和二年（一七六五）
京都河南四郎兵衛等刊安永四年（一七七五）印本 二冊 113

106 同版。印記「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「千葉県茂原市
／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。

子女子産論四卷附録子女子治験四十八則（存序、目録、卷三
第一丁） 賀川玄悦子玄著 男（賀川）玄廸子啓 山脇格叔
光校（明和二年（一七六五）京都河南四郎兵衛等）刊本
存一冊 114

印記「藤田／蔵書」（白文長方印（墨印））「佐久間／医
院」（峻斎／秘笈）（朱文正方印）。

綴じが外されている。
子女子産論四卷附録子女子治験四十八則（存卷一第十一丁至
卷二） 賀川玄悦子玄著 男（賀川）玄廸子啓 山脇格叔光
校（明和二年（一七六五）京都河南四郎兵衛等）刊本 存
一冊 115

綴じが外されている。
子女子産論四卷附録子女子治験四十八則 賀川玄悦子玄著
男（賀川）玄廸子啓 山脇格叔光校 寛政四年（一七九二）
稲葉全龍写本 一冊 105

書写識語「寛政四壬子歳 後越／稲葉全龍（花押）」。印記
「稲葉／凶書」「春（？）容／画」「峻斎／秘笈」（朱文正方
印）「千葉県茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋

行」。末に「産論翼 賀川子啓先生著 全二卷 附治験 水
戸医官宮原玄貞撰 嗣出」とあり。

産論翼二卷附録治験二十八条 賀川玄廸子啓甫著 佐藤冲茂
徳等校 安永四年（一七七五）京都河南四郎兵衛河南喜兵衛
等刊本 二冊 116

奥付「安永四乙未春三月／京師書肆（堀川仏光寺下ル
町） 河南四郎兵衛／（同町） 河南喜兵衛 発行／大坂
（心斎橋筋安堂寺町）／大野木市兵衛／東都（日本橋一丁
目）須原屋茂兵衛、見返し「産論翼／平安濟世館蔵版」。印
記「高橋家蔵」（朱文長方印）「峻斎／秘笈」（朱文正方印）
「佐久間」（朱文長方印）。

産論翼二卷附録治験二十八条 賀川玄廸子啓甫著 佐藤冲茂
徳等校 安永四年（一七七五）京都河南四郎兵衛河南喜兵衛
等刊本 二冊 117

116 同版。印記「大窪／逢安」「三世／之業」（白文正方印）
「宮河氏／蔵書印」（朱文長方印）「峻斎／秘笈」（朱文正方
印）。

産論翼二卷附録治験二十八条 賀川玄廸子啓甫著 佐藤冲茂
徳等校 安永四年（一七七五）京都河南四郎兵衛河南喜兵衛
等刊本 二冊 118

116 同版。印記「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「千葉県茂原市
／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。

産論翼二卷附録治驗二十八条 賀川玄廸子啓甫著 佐藤冲茂

徳等校 江戸期大阪河南喜兵衛等後印本 二冊 119

奥付「発行／書肆〈江戸日本橋南壹丁目〉須原屋茂兵衛

／（他六氏）／〈大阪心齋橋通北久太良町〉河内屋喜兵衛

梓／見返し「産論翼／平安濟世館藏版」。印記「佐久間／医

院」「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「千葉県茂原市／高師／佐

久間洋行」（朱文長方印）。

安永四年版とは異版。

産論翼二卷附録治驗二十八条 賀川玄廸子啓甫著 佐藤冲茂

徳等校 江戸期京都北村太助後印本 二冊 120

末に「京都書林 文華堂 五条通高倉東入／北村太助」出

版広告あり。印記「宇野／□印」（朱文正方印）他不明印一

類。

安永四年版とは異版。

（校正）産論翼 賀川玄廸子啓甫著 佐藤冲茂徳等校 嘉永六

年（一八五三）京都北村太助等刊本 二冊 121

奥付「明和二年乙酉八月 産論原刻／安永四年乙未三月

同翼原刻／嘉永六年癸丑九月 校生再刻／三都発／行書肆

〈江戸日本橋南壹丁目〉／須原屋茂兵衛／〈大坂心齋橋通北

久太郎町〉／河内屋喜兵衛／〈同 心齋橋筋本町〉／河内屋

和助／〈京都三条通富小路西入〉／北村太助、見返し「賀

川子達先生校生／産論翼／平安 濟世館藏板」。印記「保素

／葉室」（朱文正方印）「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）。

子玄子産論・産論翼（『日本産科叢書』抜刷）賀川玄悦著子玄

子産論 賀川玄廸著産論翼 増田知正鑑閱呉秀三富士川游選

集校訂日本産科叢書 明治二八年（一八九五）東京松崎留吉

排印本 一冊 122

後装表紙打付書「子玄子産論賀川玄悦著」「産論翼賀川玄

廸著」。印記「佐久間」「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」

（朱文長方印）。

『日本産科叢書』から『子玄子産論』『産論翼』を切り取っ

て表紙を付したのもの。

賀川玄悦老医口授 賀川玄悦 江戸期写本 一冊 98

和文。

産科図 闕名 江戸期写本 一冊 99

有図、外題（題簽）「産科図」。印記「佐久間／医院」「峻

斎／秘笈」「佐久間／氏／家藏」「洋」（朱文正方印）。

産科手術省斎先生口授・賀川先生外術辨内術辨 賀川省斎 江

戸期写本 一冊 100

和文。末題下部に「乙亥五月十五日写終」とあり。外題

（題簽）「産科口授」。印記「楽善堂／書画記」（朱文長方印）

「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」「洋」（朱文正方印）「千葉県

茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」（朱文長方

印)。

加川先生口授不分卷 (賀川蘭齋口授 難波恭子敬(抱節)筆記) 天保七年(一八三六) 巴江漁夫写本 三冊 101

書写識語「天保七年秋七月写於先春園/巴江漁夫」(第一冊末)「天保七歳(丙申) 秋八月写於三衰楼/巴江漁夫」(第二冊末)、和文。印記「林蔵書」(朱分権円印)「峻齋/秘笈」(佐久間/氏/家蔵)(朱文正方印)。

編著者事項は内藤記念くすり博物館蔵「賀川蘭齋先生産科口授」等諸本による。

産科紀聞四卷 (賀川蘭齋) 江戸期写本 二冊 102

扉題「産科紀聞」、序題「産科紀聞序」、首「賀川氏産術口伝記」、本文首(卷一)「賀川蘭齋先生産科口授」、各卷末題「産科紀聞」、和文。印記「佐久間/医院」「峻齋/秘笈」(朱文正方印)。

産科紀聞四卷 蘭齋賀川先生口授 難波恭(抱節)筆記 江戸期写本 一冊 103

首「題産科紀聞」末「文化癸酉秋七月書于京師僑居/備前難波恭子敬撰」(癸酉110年(一八一三))、和文。印記「華沢/函書」(白文正方印)「佐久間/医院」「峻齋/秘笈」(朱文正方印)。

産術秘要三卷 加川(賀川)有齋先生口訣 加川(賀川)蘭齋先生口授 江戸期写本 一冊 104

和文。印記「峻齋/秘笈」(朱文正方印)。

医学質験五種産科発蒙六卷 片倉元周深甫著 谷井敬英世昌源周碩博郷 伊達周禎子祥校 寛政一年(一七九九)京都勝村治右衛門大坂秋田屋太右衛門江戸須原屋茂兵衛刊本 四冊 125

刊記「発行/書林 (京都寺町通松原下ル)/勝村治右衛門/大坂心齋橋筋安堂寺町/秋田屋太右衛門/江戸日本橋南壹町目/須原屋茂兵衛」、奥付「寛政己未五月/京都寺町通松原上 勝村次右衛門/大坂 心齋橋筋順慶町 秋田屋市兵衛/江戸 日本橋通二丁目 須原屋茂兵衛/二氏/江戸 本銀町通二丁目 須原屋善五郎 発兌(横書)、見返し「医学質験義集(梓外上部横書) 鶴陵先生著/産科発蒙/静儉堂蔵」、外題(題簽)「医学/質験/義集/産科発蒙」。印記「佐久間/医院」「峻齋/秘笈」(朱文正方印)「佐久間」「千葉県茂原市/高師/佐久間洋行」(朱文長方印)。

医学質験五種産科発蒙六卷 片倉元周深甫著 谷井敬英世昌源周碩博郷 伊達周禎子祥校 江戸期江戸和泉屋金右衛門後印本 四冊 126

奥付「京都三条通舁屋町 出雲寺文次郎/他十氏/同(江戸) 横山町二町目 和泉屋金右衛門版」、見返し「医学質験義集(梓外上部横書) 鶴陵先生著(不許翻刻/千里必究)

- ／産科発蒙／江戸書林 玉巖堂発行、外題（題簽）「医学
／質驗／義集」産科発蒙」。印記「峻斎／秘笈」（朱文正方
印）「佐久間」「佐久間氏／収蔵之印」（朱文長方印）、前付に
「鶴陵先生肖像」あり。
- 受胎論〔奥劣斎 緒方惟勝〕か 江戸期岡野真斎写本 一冊
124
- 和文、有図。外題（表紙打付書）「受胎論」、内題（本文
首）「受胎説／奥先生闕（「闕」か） 緒方惟勝撰」。裏表紙書
入「坎國疾医／岡野真斎写之」。印記「久原図書」（朱文円
印）「佐久間／医院」（朱文正方印）「千葉県茂原市高師／向
陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」（朱文長方印）。
- 産科啓秘録（奥）劣斎先生口授 江戸期写本 一冊 128
- 後装表紙打付書（峻斎筆）「産科啓秘録／回生鉤胞秘訣」、
印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「千葉県
茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」「千葉県茂
原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。
- 回生鉤胞秘訣（奥）劣斎先生口授 江戸期写本 一冊 129
- 和文、外題（題簽）「回生鉤胞秘訣」。印記「圓爾道／方爾
徳」（白文長方印）「佐久間／医院」（朱文正方印）「千葉県茂
原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。
- 印記「圓爾道／方爾徳」は『傷寒管見』（43）にもあり。
- 産科手術秘録（奥）劣斎先生口授 江戸期写本 一冊 130
- 和文。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」（朱文正方印）。
産術階梯二卷 劣斎奥先生口授 西村懿徳卿甫述 江戸期写本
一冊 131
- 印記「高垠（？）」（墨文円印、貸本屋印か）「高德／之印
一字／有隣」（白文長方印）「琴中鶴」（朱文長方印）「高一
徳」（朱文正方印）「観古／園」（朱文正方印）「佐久間／医
院」「峻斎／秘笈」（朱文正方印）。
- 印記「高垠（？）」（墨文円印）は『東郭和田先生方意解』
（222）にもあり。
- 産科回生秘訣 山脇格叔光選 江戸期写本 一冊 127
- 有図。印記「佐久間／氏／家蔵」（朱文正方印）
- 産論辨 抱節主人（難波抱節）著 江戸期思誠堂刊本 一冊
123
- 見返し「抱節主人授／産術辨／思誠堂蔵」。印記「佐久間
／医院」「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「千葉県茂原市高師／
向陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」（朱文長方印）。
- 産科新論抄書 闕名 江戸期写本 一冊 132
- 和文。印記「道」（朱文円印）「雲」（白文円印）「峻斎／秘
笈」（朱文正方印）。
- 産家やしなひ草 佐々井玄敬茂庵著 安永六年（一七七七）大
坂上田卯兵衛等刊本 一冊 134
- 奥付「安永六歳丁酉春正月／書林（江戸日本橋南壹丁目）」

／須原屋茂兵衛／〈大坂心齋橋筋北久太郎町〉／柳原喜兵衛
／〈同心齋橋北詰少北〉／上田卯兵衛、見返し「茂庵先生
著／子玄先生閱」／産家やしなひ草／浪花書肆 積王圃梓、
和文。外題(題簽)「産家やしなひ草」。奥付部に「まみやこ
満(?)」と書入あり。印記「佐久間／医院」「峻／斎」(朱
文正方印)。
綴じが外されている。

産科指南二卷 大牧周西著 男(大牧)周達等校 文政九年

(二八二六) 跋刊江戸岡田屋嘉七等後印本 二冊 135

奥付「書肆〈京都三条通升屋町〉／出雲寺文次郎／(他
五氏)／〈同(江戸)芝神明前〉／岡田屋嘉七」、和文、有
図。書套「上総大牧周西著／産科指南／関柳堂蔵」。印記

「峻斎／秘笈」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。

綴じが外されている。

産科撮要 杏菴金子典從著 天保二年(一八三一)序刊本

一冊 136

和文。外題(書題簽)「産科撮要」。印記「佐久間／医院」
(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印、朱文円印、墨文楕円
印三種)。

中条流本味口伝 闕名 江戸期写本 一冊(仮綴本) 265

和文。外題(表紙打付書)「中条流本味口伝」。印記「英／
蔵」(墨文円印、貸本屋印か)。

印記「英／蔵」は『青洲先生檢証百問答』(270)にもあり。

○ 妊婦心得草 佐藤湛斎 明治一〇年(一八七七)年刊本(佐藤

湛斎蔵版) 一冊 144

刊記「明治十年丁丑四月 東向国駒止橋／佐藤湛斎蔵版」、
和文、有図。

産科新式二卷(卷二闕) 賀川満載口授 加藤寧蔭筆記 明治

一〇年(一八七七) 竹下子正刊本 存一冊 145

封面「賀川満載口授／加藤寧蔭筆記」／産科新式 初篇
／東京 蒼雪窠蔵版、和文。印記「佐久間／医院」(朱文正
方印)。
綴じが外されている。

綴じが外されている。

産科図譜 闕名 明治期永原順輔写本 一冊 142

識語「明治二十二年冬十二月上流／従五位横井信之書於／
柳城晚翠堂」(白文正方印)「澹／如水」朱文正方印「養／
翠」、有図、外題(題簽)「産科図譜」又「永原順輔写」、印
記「佐久間／医院」「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)「千
葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)又朱文正方
印「峻斎／秘笈」墨文長方印「千葉県茂原市高師／向陽堂
佐久間医院／佐久間洋行」コピー紙片貼付。
綴じが外されている。

袖珍産科用模型拵模型 柴田耕一著 明治二六年(一八九三)

- 高後鞞排印本 一冊 146
 ウィンケル独文序あり。扉「(独逸国民顕大学婦人科産科
 教頭枢密医官／プロフェッソル、ドクトル、フランツ、フォ
 ン) ウィンケル氏序／日本医学士、ドクトル 柴田耕一考案
 ／(紙製／袖珍) 産科模型 完／成功堂発兌」。印記「佐久
 間／医院」(朱文正方印)
- 産科要領 五十嵐桂山著 明治三十六年(一九〇三) 五十嵐良助
 活字印本 三冊 141
 印記「佐久間／医院」(朱文正方印)。
 綴じが外されている。
- 安産の友 佐久間兼信 昭和二年(一九二七) 年婦人之友社
 一冊 147
 和文、有図。
- 撒羅滿氏産論五卷 (ゴットリープ・サロモン著) 矢田部卿雲
 「訳」 弘化二年(一八四六) 序 江戸期写本 七冊 143
 天保一五年(一八四五) 矢田部卿雲識語、弘化二年(一八
 四六) 矢田部卿雲序あり。外題(題簽)「撒羅滿氏産論究理
 篇」 「撒羅滿氏産論施術篇」。印記「佐久間／医院」(朱文正
 方印) 「千葉県茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋
 行」(朱文長方印)。
 究理篇、施術篇からなる。
- 華氏産科摘要三卷 (華爾都保崙著) 小林義直訳 明治六年
 (一八七三) 英蘭堂島村利助刊本 三冊 140
 見返し「小林義直訳／産科摘要／(明治六年／三月新鐫)
 盧灣漁舍梓」、和文、外題(題簽)「産科摘要」。印記「内田
 正／図書記」(朱文長方印) 「佐久間／医院」 「洋」(朱文正方
 印)。
- (日講記聞) 産科論二卷 蘭越爾蔑噠斯口授 高橋正純口訳
 大川涉吉録 (明治八年(一八七五)) 刊本 二冊 137
 和文。外題(書題簽)「産科論」。
- (日講記聞) 産科論二卷 蘭越爾蔑噠斯口授 高橋正純口訳
 大川涉吉録 (明治八年(一八七五)) 大阪書籍会社刊本 一
 冊 138
 奥付「官版 製本所／大坂本町四丁目／書籍会社」又「明
 治九年丙子」「鳥取／原田／本街」と墨印(貸本屋印か)あ
 り。和文。印記「鳥取／原田／□寿」(墨文正方印、貸本屋
 印か) 「佐久間／医院」(朱文正方印)。
- 産科要訣三卷 英吉利西沕印原著 和蘭蒲鹿兒斯増補 日本高
 橋正純訳述 松尾耕三校訂 明治一二年(一八七九) 日新亭
 刊本 三冊 139
 見返し「明治十二年六月刊行(梓外上部横書) (英国西沕
 印原著／和蘭蒲鹿兒斯増註)／産科要訣／(高橋正純／訳述
 増補) 日新亭蔵」、和文、有図。

(二) 婦人科

太医院校註婦人良方大全二十四卷 宋陳自明撰 明薛己補遺

承応二年(一六五三) 風月庄左衛門拋万曆中建陽書林余彰德

刊本重刊 四冊 150

刊記「承応二歲初冬吉／風月庄左衛門板」、また卷首編著

者事項に「建邑書林泗水余彰德梓」とあり。有図。

婦人産帯記(奚囊便方) 明陳朝培集 延宝四年(一六七六)

松本泰信刊本 一冊 151

卷首「婦人産帯記」次行「奚囊便方」、末に「平安書舖玉

枝軒医書蔵板目録」あり、刊記「延宝四(丙辰)歳／辰月

吉日(松本／泰信)(白文正方印刷)板行」。

濟陰綱目十四卷 清武之望撰 清汪淇注 清張志聰校 [清]

拋康熙四年(一六六五) 蝸寄刊本石印 六冊 313

外題(題簽)「重訂濟陰綱目」封面「関中武叔卿先生著

(横書)〈女科第一善本／後附保生碎事〉／校正濟陰綱目／上

海広益書局印。印記「米内山／蔵書」(白文正方印)「佐久

間／医院」(洋) (朱文正方印)「千葉県茂原市高師／向陽堂

佐久間医院／佐久間洋行」(朱文長方印)。

女科経緯八卷 清蕭燠撰 清康熙二三年(一六八四) 序燕貽堂

刊本 四冊 148

見返し「胎産全書(粹外上部横書) 橋李蕭賡六先生纂著／

女科経緯／(識語)／燕貽堂梓行」。印記「久留米／中善／

札ノ貳」(墨文円印、貸本屋印か)「文漪／堂／珍賞」(白文

正方印)「増／庫／田／文／MASUDA」(増田文庫)(朱文

円印)「佐久間／医院」(洋) (朱文正方印)「千葉県茂原市高

師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」(朱文長方印)。

○

婦人寿草三卷(卷上闕) 香月啓益(牛山)纂輯 享保一一年

(一七二六) 京都菊屋七郎兵衛著屋勘兵衛印本 存四冊 149

刊記「享保十一歳／(丙午) 正月吉日求之／(寺町通松原

上ル町)／菊屋七郎兵衛／(寺町通松原下ル町)／著屋勘兵

衛」(入木、和文、有図。印記「巖田／之章」(白文正方印)。

刊記「著屋勘兵衛」が「梅村三郎兵衛」の同年別刊本あ

り。

帯下編 台州先生(荻野元凱)著 慶応三年(一八六七) 写本

一冊(仮綴本) 133

表紙打付書「帯下編 (台州先生著) 完」、書写識語「慶応

三稔歳次丁卯／黄鐘下浣騰写」。印記「峻斎／秘笈」(佐久間

／氏／家蔵)「峻／斎」(朱文正方印)。

○

婦人病論(前編)三卷 (蘭・普稜吉(プレルク)著) 船曳修

徳夫述(訳) 嘉永三年(一八五〇) 京都若山屋茂助等刊本

三冊 152

- 奥付「癸兌書肆 江戸〈浅艸茅町二丁目〉／須原屋伊八
／大坂〈心齋橋北久太郎町〉／河内屋喜兵衛／皇都〈二条
通柳馬場東江入〉／若山屋茂助」、見返し「嘉永三年庚戌春
稟准雕刻（粹外上部横書）船曳卓堂述／婦人病論／雙屈舍
藏」、和文。印記「佐久間／医院」（朱文正方印）「千葉県茂
原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」（朱文長方印）。
- 婦嬰新説二卷図一卷 英国合信・清管茂材同撰 安政六年（一
八五九）京都天香堂安藤桂拙清咸豊八年（一八五八）上海仁
済医館刊本重刊 二冊 153
- 見返し「安政己未翻刻（粹外上部横書）英医合信氏著／婦
嬰新説／平安 天香堂藏版」、封面「咸豊八年新鑄／婦嬰新
説／江蘇上海仁済医館藏板」、有図。印記「家住／江城図／
書中」（朱文正方印）「野中」（朱文円印）「佐久間／医院」
（朱文正方印）。
- 婦嬰新説二卷図一卷 英国合信・清管茂材同撰 桃樹園三宅良
斎拙清咸豊八年（一八五八）上海仁済医館刊本重刊江戸老皂
館万屋兵四郎後印 二冊 154
- 奥付「桃樹園三宅氏藏板／老皂館 東都江左／万屋兵四郎
／發行」、封面同153、有図。印記「復□軒／読本記」（朱文長
方印）「佐久間／医院」（朱文正方印）。
- 簡明婦人病論六卷 米国斯密私民著 日本安藤正胤識 明治一
二年（一八七九）安藤正胤刊本 六冊 155
- 見返し「米国斯密私民著／日本安藤正胤識」／簡明婦人
病論／東京 爽然楼藏版」、奥付「桃樹園三宅氏藏板／老皂
館 東都江左／万屋兵四郎／發行」、奥付「明治十二年三月
十三日（略）安藤正胤」又癸兌書肆七氏、和文。印記「内
田正／図書記」（朱文長方印）「佐久間／医院」「洋」（朱文正
方印）「千葉県茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋
行」（朱文長方印）。
- 簡明婦人病論六卷 米国斯密私民著 日本安藤正胤識 明治一
二年（一八七九）安藤正胤刊本 二冊 156
- 155 同版。和文。印記「佐久間／医院」（朱文正方印）又
「峻斎／秘笈」（朱文正方印）紙片貼付。
-
- 婦人科論四卷（卷一闕） 桜井郁二郎編纂 明治一四年（一八
八一）桜井郁二郎活字印本 存三冊 157
- 和文、有図。印記「吉田善（？）橘／図書之記」（朱文長
方印）。
- （三） 小児科
- 〔小児見立〕 闕名 江戸期写本 一冊 158
- 和文。表紙書入「小児目立 岡邑氏」、卷首「小児の筋二
テ病ヲ見立ル事」。

七、外科

新刊外科正宗四卷（存卷四） 明陳実功撰 〔寛政三年（一七八

二）金沢荻野元凱芳蘭樹校刊〕 後印本 存一冊 81

印記「佐久間／医院」（朱文正方印）「千葉県茂原市高師／
向陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」（朱文長方印）。

外科上池秘録四卷 西川瑚子璉選 享和二年（一八〇二） 江戸

英平吉刊本 一冊 176

末に「万笈堂藏版目録（江戸本石町／十軒店）英大助」
あり、奥付「享和二年孟夏刻成／江戸書林 本石町十軒店／

英平吉」、見返し「国華西川先生撰（千里必究／不許翻刻）

／外科上池秘録／東都書林 万笈堂蔵」。印記「佐久間／医
院」（朱文正方印）。

春林軒乳岩辨 〔華岡青洲〕 江戸期写本 一冊 229

印記「峻斎／秘笈」（朱文正方印）。

南紀華岡神伝極秘乳岩経験図会 〔華岡青洲〕 写本電子複写
一冊 230

有図。外題（表紙打付書）「〔南紀華岡／神伝極秘〕 乳岩経

験図会 完」。印記「貫斎」（朱文長方印）「佐久間／医院」

「峻斎／秘笈」「佐久間／氏／家蔵」（朱文正方印）「佐久間」

「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文長方印）。

家蔵の写本を電子複写し、表紙を付した。該表紙に峻

斎注記あり。

八、疹科・痘科

痘科拳要二卷附秘伝痘科四綱図略 錦橋池田先生閱 男（池

田）齋瑞英述 孫（池田）雄瑞長・（池田）盤俊英校 文政

七年（一八二四）序刊本 一冊 86

見返し「京水池田先生痘科集成之一／痘科拳要／宗経塾所
存版」、和文。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」「佐久間

／氏／家蔵」（朱文正方印）。

瘍科秘録十卷（卷六下、卷九闕） 本間玄調和卿著 弘化四年

（一八四七）江戸和泉屋金右衛門刊同氏等後印本 存一〇冊

82

刊記「弘化四年（丁／未）仲冬／本間玄調著／（横山町三

丁目）／和泉屋金右衛門」、奥付「三都／書肆（京都寺町通

松原下ル町）／勝村治右衛門／（大坂心齋橋通北久太郎町）

／河内屋喜兵衛／（江戸日本橋通二丁目）／須原屋茂兵衛／

（他六氏）／（同横山町三丁目）／和泉屋金右衛門」、末に出

版書目「玉巖堂製本書目 江戸横山町三丁目 和泉屋金右衛

門」あり、見返し「棗軒本間先生著／瘍科秘録／自準亭蔵」、

和文、有図。印記「磯野／蔵書」（朱文正方印）「峻斎／秘

笈」（朱文正方印）。

瘍科秘録十卷（卷一闕） 本間玄調和卿著 弘化四年（一八四

七）江戸和泉屋金右衛門刊同氏等後印本 存一冊 83

刊記「弘化四年（丁／未）仲冬／本間玄調著／（横山町三

丁目）和泉屋金右衛門」奥付「（大坂 心齋橋通北久太郎

町）／河内屋喜兵衛／（江戸 日本橋通壹丁目）／須原屋茂

兵衛／（他五氏）／（横山町三丁目）／和泉屋金右衛門」、

末に出版書目「玉巖堂藏梓目録（東都両国／横山町三丁

目）和泉屋金右衛門」あり。見返し「棗軒本間先生著／瘍科

秘録／自準亭藏」、和文、有図。印記「佐久間／医院」（朱文

正方印）。

続瘍科秘録五卷（卷一闕） 棗軒本間先生口授 川又誠等記

江戸期江戸和泉屋金右衛門等後印本 存四冊 84

奥付「三都／書物／問屋（京都寺町通下ル町）／勝村治

右衛門／（大坂心齋橋通北久太郎町）／河内屋喜兵衛／（他

三氏）／（尾州名古屋本町七丁目）／永楽屋東四郎／（江戸

日本橋通壹丁目）／須原屋茂兵衛／（他三氏）／（同 横山

町三丁目）／和泉屋金右衛門」、末に「棗軒本間先生著述目

録」あり、和文、有図。印記「佐久間／医院」（朱文正方印）。

続瘍科秘録五卷（卷一闕） 明治期東京和泉屋金右衛門等後印

本 存四冊 85

奥付「（京都三条通舛屋町）／出雲寺文次郎／（他一氏）

／（大坂心齋橋通北久太郎町）／河内屋喜兵衛／（他一氏）

／（東京日本橋通二丁目）／須原屋茂兵衛／（他六氏）／

（同 横山町三丁目）／和泉屋金右衛門版」、末に「棗軒本間

先生著述目録」あり、和文、有図。

麻疹考稿 闕名 江戸期「佐久間」良齋写本 一冊 87

後補表紙に峻齋筆題簽、及び識語あり「麻疹考稿（家藏本

／良齋翁筆）／此書何人ノ著タルカヲ知ラズ／文中「甲戌」

ノ文字有ルヲ見レバ／文化十一年頃ノ著述ナラン。／屋代弘

賢著ニ「麻疹考」ノ一書アルニ之ト同本カ後日ノ攷確ヲ

要ス。峻齋生（朱筆正方印「洋」）。

九、梅毒

微瘡口訣附独嘯庵囊中秘方（永富）独嘯庵著 天明八年（一

七八八）序大坂播磨屋新兵衛等刊本 一冊 88

刊記「浪華書林（北久太郎町心齋橋北江入）／河内屋喜

兵衛／（博労町佐野屋橋南江入）／播磨屋新兵衛、見返し

「独嘯庵先生著／微瘡口訣 全 附囊中秘方／發行書肆（積

玉圃／文宝堂）藏」、和文。印記「洋」（朱文正方印）「千葉

県茂原市高師／向陽堂／佐久間洋行」（朱文長方印）

微癩新書 片倉元周深甫著 天明七年（一七八七）序江戸須原

屋茂兵衛等刊本 一冊 89

版心下部「静儉堂藏」、天明七年丹波元簡序、同年自序あ

り、刊記「発行／書林 京都寺町通松原下ル／勝村治右衛門
 ／大坂心齋橋筋安堂寺町／秋田屋太右衛門／江戸日本橋南壹
 町目／須原屋茂兵衛」、奥付「天明六年丙午十月／東都書林
 本白銀町／須原屋善五郎」、見返し「天明丙午冬開鐫（梓
 外上部横書）相州片倉元周著〈屠蘇考微瀉新書青囊瑣／探在
 東都今川橋白銀第／三街書肆宮商閣発売〉／微瀉新書／〈每
 部：〉〈静儉堂藏／翻刻必究〉。印記「護／寿館」（朱文正方
 印）「洋」（朱文正方印）
 綴じが外されている。

一〇、諸科

水腫加言〔華岡青洲〕著 江戸期写本 一冊 224
 和文。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」「佐久間／氏／
 家藏」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）。
 痢氣口訣 闕名 江戸期写本 一冊 264
 外題（題簽）「痢氣口訣 全」、内題無し、末に「浅田黄子
 中藏書」とあり。和文。印記「佐久間／医院」（朱文正方印）。
 仿宋古本眼科捷徑 閩吳陳修園先生 民国二六年（一九三七）
 上海大文書局發行所排印本 一冊 159
 「秘本眼科捷徑」「眼科驗方」所収。印記「佐久間／医院」
 （朱文正方印）

口中乱訪記 闕名 江戸期写本 一冊（仮綴本） 266

末に「敏樹」とあり。外題（表紙打付書）「口中乱訪記」、
 内題無し。草書体和文。印記「佐久間／氏／家藏」（朱文正
 方印）「佐久間」（朱文長方印）。

公辺御触書 闕名 江戸期写本 一冊（仮綴本） 215

印記「佐久間／医院」「佐久間／氏／家藏」「洋」（朱文正
 方印）「佐久間」「千葉泉茂原市／高師／佐久間洋行」（朱文
 長方印）。

暴瀉流行にあたり治療薬の処方などを記したものを。

救急撮要方〔蘿摩舡人〕 安政四年（一八五七）序刊本 一冊
 （横長本） 279

見返し「安政丁巳秋／救急／撮要／方 単／櫻寧室藏刻」、
 外題（題簽）「救急撮要」。印記「梅閣留春／荷亭銷夏／自誤
 丙巳」「佐久間／氏／家藏」（朱文正方印）「佐久間氏／収藏
 之印」「佐久間」（朱文長方印） 他不明印三顆。

綴じが外されている。

衛生嘉言 柏木亀太郎纂輯 明治二二年（一八八八） 柏木亀太
 郎活字印本 一冊 271

和文。印記「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「佐久間」（朱文
 長方印）、他不明印二顆。

一、解剖

解屍編 河口信任子遠著〔明和九年（一七七二）〕刊本電子複

写 一冊 276

後補表紙打付書「解屍編 河口信任著」（朱子持粹）又

「石井双石先生刻」（昭和三十年83才）「高（？）石峯先生

刻」。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」「佐久間／氏／家

藏」（朱文正方印）。

造物余譚・越俎弄筆 医学古典集（3） 三浦梅園著造物余譚

中井履軒著越俎弄筆 小川鼎三解説 日本医史学会編 昭

和三三年（一九五八）医歯薬出版株式会社抛造物余譚安永一

〇年（一七八一）自筆稿本造物余譚安永二年（一七七三）自

筆清書本影印 一冊 168

有図。印記「鼎」（朱文円印）「鼎」（白文正方印）「日本医

／史学会」（紫文正方印）「峻斎／秘笈」「洋」（朱文正方印）。

小川鼎三旧蔵。

一二、薬物・薬方・処方

（註略）神遺方三卷〔丹波康頼著 和氣義啓校〕 宇津木義郎

編 大正一四年（一九二五）神遺方刊行会活字印本 一冊

188

題簽「〔略／註〕神遺方 上中下三卷 全」。印記「府下池

袋／佐久間医院」（紫文長印）。

薬性能毒二卷（二溪翁）（曲直瀬道三）著〔延寿院玄朔〕（曲

直瀬玄）補 慶長一三年（一六〇八）刊本 一冊（横長本）

170

刊記「慶長十三年龍集（戊申仲夏／如意珠日）／洛濵延寿

院玄朔」、表紙裏書入「寛永廿年／霜月廿一日／（花押）」。

印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「佐久間

氏／収蔵之印」「佐久間」（朱文長方印）。

綴じが外されている。

牛山先生方考三卷 被髮翁香月啓益纂 天明二年（一七八一）

刊大坂河内屋卯助等後印本 一冊 219

奥付「三都／発行／書肆（江戸日本橋南壹丁目）／須原

屋茂兵衛／：（他七氏）／（京都三条通御幸町南）／吉野家

仁兵衛／（尾州名古屋本町通）／菱屋藤兵衛／（大阪心斎橋

通北久太良町）／河内屋喜兵衛／（他一氏）／（同 全通備

後町南工入）／同卯助、見返し「香月牛山先生著／牛山方

考／書肆（浅野星文堂／北村杏林軒／山本景雲堂」、和文。

印記「木場／晴生」（朱文正方印）。

方の附附六経證治綱領・補遺古方括要 烏巢道人（加藤）謙斎

述 主篤菴（加藤玄順）（編）輯録補遺古方括要 明和七年

（一七七〇）大坂浅野弥兵衛等刊本 一冊 190

版心下部「鳥巢堂蔵」、刊記「明和七寅初春 浪速書肆

高麗橋一丁目「浅野弥兵衛梓」〔六経證治綱領〕末「明和

七寅年／初春刊行 皇都書肆 風月莊左衛門／同 林権兵衛

／同 出雲寺文次郎／同 中野宗左衛門／同 梅村弥右衛門

／浪速書肆 浅野弥兵衛」(書末)。印記「佐久間／氏／家

蔵」(朱文正方印)。

藥方選 (医療藥方規矩) (加藤謙斎) 天保八年(一八三七)

大坂秋田屋太右衛門等刊本 一冊 192

刊記「天保八年丁酉孟夏再刻／書肆 江戸 須原屋茂兵衛

／同 伊八／京 勝村治衛門／大阪 河内屋直助／秋田屋太

右衛門」、見返し「天保八酉孟夏再版(梓外上部横書) 参河

鳥巢道人謙斎先生著／医療藥方規矩 完／一名藥方選／浪華

〈文淵堂／定栄堂〉合刻。印記「佐久間／医院」「峻斎／

秘笈」「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長

方印)。

藥方選 (医療藥方規矩) 定栄堂主人(加藤謙斎) 江戸期大坂

吉文字屋市右衛門塩屋長兵衛刊本 一冊 181

刊記「煉丹窟蔵版／壳弘書林 〈大阪心斎橋南四丁目〉／

吉文字屋市右衛門／〈同 心斎橋通伝馬町〉／塩屋長兵衛」。

印記「峻斎／秘笈」「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)「佐

久間」(朱文長方印)。

方極 (吉益) 東洞先生口授 品丘明筆受 田宮龍校正 明和

元年(一七六四) 刊享和三年(一八〇三) 江戸須原屋茂兵衛

大坂河内屋木兵衛再刻本 一冊 208

刊記「明和元(甲申)年七月／享和三(癸亥)閏正月再刻

／東都書肆 須原屋茂兵衛／浪華書肆 河内屋木兵衛」、見

返し「享和再刻(梓外上部横書) 東洞吉益先生／方極／撰津

書肆 積玉圃発行」、末に「柳原積玉圃医書版目録(大坂心

斎橋筋／北久太郎北江入) 河内屋喜兵衛」あり。朱筆書入あ

り、印記「峻斎／秘笈」「峻／斎」(朱文正方印)「佐久間」

(朱文長方印・大)。

後装表紙の峻斎注記によれば本冊は高祖父誠斎手沢本で朱筆書入は『類聚方広義』によるという。

類聚方 吉益為則公言(東洞) 撰 中邨貞治子亨校 明和元年

(一七六四) 京都林宗兵衛等刊本 一冊 197

版心下部「蒲蘆亭蔵」、奥付「明和元(甲申)年七月

平安書肆 田中市兵衛／山本長兵衛／林権兵衛／林宗兵衛」。

印記「佐久間／医院」「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)

「佐久間」「千葉泉茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間

洋行」(朱文長方印)。

199 同版、198、200 別版。

類聚方 吉益為則公言(東洞) 撰 中邨貞治子亨校 明和元年

(一七六四) 京都林宗兵衛等刊本 一冊 199

197 同版。印記「佐久間／医院」「佐久間／氏／家蔵」(朱文

正方印)「佐久間」(朱文長方印)。

198、200別版。

類聚方 吉益為則公言(東洞)撰 中邨貞治子亨校 明和元年

(二七六四) 京都〔林宗兵衛等〕刊本 一冊 198

版心下部「蒲蘆亭藏」、奥付「明和元(甲/申)年七月

平安書肆 □(以下破損)。印記「石子(?)推(?)」/家

藏印)「佐久間/医院」「峻斎/秘笈」「佐久間/氏/家藏」

(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。

200同版、197、199別版。

類聚方 吉益為則公言(東洞)撰 中邨貞治子亨校 明和元年

(二七六四) 京都林宗兵衛等刊本 一冊 200

版心下部「蒲蘆亭藏」、奥付「明和元(甲/申)年七月

平安書肆 田中市兵衛/山本長兵衛/林権兵衛/林宗兵衛」。

印記「佐久間/医院」「峻斎/秘笈」「佐久間/氏/家藏」

(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。

198同版、197、199別版。

類聚方 吉益為則公言(東洞)撰 中邨貞治子亨校 寛政一

年(一七九九) 京都林権兵衛等刊本 一冊 201

版心下部「蒲蘆亭藏」、奥付「明和元(甲/申)年元板/

寛政十一(己/未)再板 平安書林 田中市兵衛/山本長兵

衛/林権兵衛/林宗兵衛/出雲寺文治郎/風月莊左衛門/小

川太左衛門」(林権兵衛に捺印)、見返し「寛政再刻(梓外上

部横書) 東洞吉益先生著/類聚方/皇都 書肆合刻」、外題

(題簽)「類聚方(再刻)全」。印記「佐久間/医院」「佐久

間/氏/家藏」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。

202同版。

類聚方 吉益為則公言(東洞)撰 中邨貞治子亨校 (寛政一

年(一七九九) 京都小川太左衛門等刊本 一冊 202

版心下部「蒲蘆亭藏」、奥付「明和元(甲/申)年元板/

寛政十一(己/未)再板 平安書林 田中市兵衛/山本長兵

衛/林権兵衛/林宗兵衛/出雲寺文治郎/風月莊左衛門/小

川太左衛門」、見返し「東洞吉益先生著/類聚方/皇都 書

肆合刻」。峻斎書入詳密にあり、印記「佐久間/医院」「峻斎

/秘笈」「峻斎/洋」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方

印2種)「佐久間」(朱文楕円印)、他不明印一類。

201同版。匡廓外余白が切除されており、そのため見返し梓

外記事「寛政再刻」も無し。

類聚方 吉益為則公言(東洞)撰 中邨貞治子亨校 刊本写

一冊 203 版心下部「蒲蘆亭藏」。印記「佐久間/医院」「佐

久間/氏/家藏」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。

類聚方 皇漢医学叢書之一 吉益為則公言(東洞)撰 中邨貞

治子亨校一九五五年人民衛生出版社出版排印本 一冊 298

類聚方集覽二卷(存卷上) 雉問煥子炳標注 男(雉問)適之

適校 享和三年(一八〇三)序刊本 一冊 206

後装表紙打付書「類聚方集覽／南総藻原街／佐久間医院蔵」。印記「輪／斎」（朱文正方印）「志貫／輪字／□□」（白文正方印）「乾堂」（白文長方印）「佐久間／医院」（朱文正方印）。

綴じを外し丁を開いて別紙に貼付して綴じ直す。

類聚方序掌故 北洲吉益先生閔 菽水池口達 莊田元善校 天

保一一年（一八四〇）序成立 写本 一冊 205

卷首「類聚方序掌故小引」末「天保庚子秋七月尽日池達徳

郎書於浪速梅花書屋」（庚子〓一一年（一八四〇））、末に天

保一一年莊田元善跋あり、また裏表紙裏に昭和十五年（一九

四〇）峻斎書人あり。印記「佐久間／医院」（朱文正方印）

「千葉県茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」（朱

文長方印）。

類聚方序解 闕名 江戸期写本 一冊（仮綴本） 204

末「宝曆癸未之春／桃園皇帝之御字寛延四年其冬十一月／

三日改元曰宝曆癸未当宝曆三年也／美濃 武欽繇撰」。印記

「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）。後補

表紙打付書（峻斎筆）「類聚方序解（家蔵本）」（朱子持柀）。

類聚方広義後序 佐久間洋行（峻斎） 昭和三十七年（一九六

二）佐久間洋行自筆本 一冊 312

表紙打付書「類聚方広義 小引（訂正して「後序」（朱子

持柀）末「昭和三十七年壬寅仲秋上流／上総向陽堂の南榮に

於て／峻斎佐久間洋行識す」。

尾台榕堂『類聚方広義』復刊本後序の原稿。「医薬出版株

式会社」原稿用紙使用。奥付の稿も付す。

古方便覧二卷（存卷一） 東洞吉益先生校閱 六角重任毅夫筆

記 天明元年（一七八一）序刊本（一部補抄） 存一冊 196

見返し「東洞吉益先生校閱 門人六角重任筆記／古方便覧

／撰州荒陵 公文館蔵」。印記「推藻／亭／蔵書」（朱文正方

印）。

古方便覧二卷（存卷二） 東洞吉益先生校閱 六角重任毅夫筆

記 文化年間刊本 存一冊 195

見返し「文化再刻（柀外横書） 東洞吉益先生校閱 門人六角

重任筆記／古方便覧／浪華書肆（興文堂／積玉圃）。

薬徴三卷 東洞吉益先生著 田中殖卿玄蕃等校 天明五年（一

七八五）刊文化九年（一八一二）大坂吉田善蔵等印本 三冊

173

奥付「天明五年乙丑五月発行／文化九年壬申十月規版／京

都書林 出雲寺文治郎／山本長兵衛／林権兵衛／浪華書林

吉田善蔵」末に「浪華書林吉田松根堂蔵版書目（心斎橋通

安土町北へ入／加賀屋善蔵）」あり。該書目の首に「昭和四

年十月五日 梅径書屋蔵」と書入あり、印記「富川氏／蔵書

印」（朱文長方印）。

薬徴続編二卷附録一卷 邨井柀著 寛政六年（一七九四）京都

林権兵衛等刊本 三冊 174

附録末「安永戊戌初夏十二日／男 烜／炳 全校、奥付

「寛政六年甲寅春／皇都書林 出雲寺文次良／林権兵衛／林

宗兵衛／橘屋儀兵衛／熊本書林 橘屋清蔵」（林権兵衛に捺

印）。奥付に「昭和四年十月五日 梅径書屋蔵 紛文輔」と

書入あり。印記「富川氏／蔵書印」（朱文長方印）。

重校葉徴二巻 吉益東洞著 田中殖等校 尾台榕堂重校 昭和

一二年（一九三七）日本漢方医学会出版部排印本 一冊 175

奥付「昭和十二年三月二十一日印行／漢方医学研究仁友

会々員用プリント」。印記「佐久間／医院」（朱文正方印）

「佐久間」（朱文長方印）。

大塚敬節所蔵『重校葉徴』を底本として油印したものに峻

斎が校正を書入れたもの。

方機 吉益東洞先生口授 乾省守業筆記 殿経文緯校訂 天保

五年（一八三四）江戸和泉屋金右衛門刊本 一冊 207

奥付「天保七年五月／横山町三丁目／和泉屋金右衛門」。

印記「佐久間／医院」（朱文正方印）。

綴じが外されている。

方機 皇漢医学叢書之一 吉益東洞先生口授 乾省守業筆記

殿経文緯校訂 一九五五年人民衛生出版社出版排印本 一冊

299

方機 皇漢医学叢書之一 吉益東洞先生口授 乾省守業筆記

殿経文緯校訂 一九五五年人民衛生出版社出版排印本 一冊

300

養寿院方函（山脇東洋） 藹墩先生校正 文化一三年（二八一

六）江戸英平吉刊本 二冊 194

刊記「文化十三年丙子春 本石町十軒店／万笈堂英平吉、

見返し「藹墩先生校正／方函／万笈堂蔵」。印記「安（？）

中書屋」（朱文長方印）「佐久間／医院」「佐久間／氏／家

蔵」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方印）。

解毒方集驗 柳尚賢著 千野良岱補 寛政七年（一七九五）京

都梶川七郎兵衛等刊本 一冊 184

奥付「讃州高松千野良岱著／寛政七年乙卯正月／書肆

〈江戸通白銀町三丁目〉 須原屋善吾郎五／〈大阪心齋橋順慶

町〉 柏原屋清右衛門／〈京西堀川高辻上ル〉 梶川七郎兵

衛」。印記「峻斎／秘笈」（朱文正方印）「佐久間」（朱文長方

印）。

綴じが外されている。

上池秘録四巻 西川瑚子躑撰 享和三年（一八〇三）江戸和泉

屋金右衛門等刊本 一冊 177

奥付「京都寺町通松原 勝村治右衛門／大坂心齋橋筋北久

太郎町 河内屋喜兵衛／江戸日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛

／他四氏／同 横山町三丁目 和泉屋金右衛門、見返し

「享和三年春再鐫（梓外上部横書） 国華西川先生撰／上池秘

録〈前／編〉／東都書肆 玉巖堂」。印記「佐久間／医院」
（朱文正方印）。

上池秘録続編四卷 西川瑚子璉撰 享和三年（一八〇三）江戸
和泉屋金右衛門等刊本 一冊 178

奥付「京都寺町通松原 勝村治右衛門／大坂心齋橋筋北久
太郎町 河内屋喜兵衛／江戸日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛
／他四氏／同 横山町三丁目 和泉屋金右衛門」、見返し
「享和三年春再鐫（梓外上部横書）国華西川先生撰／上池秘
録〈統／編〉／東都書肆 玉巖堂」。印記「佐久間／医院」
（朱文正方印）。

上池秘録三編 西川瑚子璉撰 享和三年（一八〇三）江戸和泉
屋金右衛門等刊本 一冊 179

奥付「京都寺町通松原 勝村治右衛門／大坂心齋橋筋北久
太郎町 河内屋喜兵衛／江戸日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛
／他四氏／同 横山町三丁目 和泉屋金右衛門」、見返し
「享和三年春再鐫（梓外上部横書）国華西川先生撰／上池秘
録〈三／編〉／東都書肆 玉巖堂」。印記「佐久間／医院」
（朱文正方印）。

上池秘録四編 西川瑚子璉撰 江戸後期江戸英平吉印本 一冊
180

奥付「京都寺町通松原 勝村治右衛門／大坂心齋橋筋北久
太郎町 河内屋喜兵衛／江戸日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛

／他四氏／同 横山町三丁目 和泉屋金右衛門」、見返し
「国華西川先生撰／上池秘録〈四／編〉／江戸本石町十軒店
万笈堂英平吉」、末に出版広告二件あり、末に「江戸本石町
十軒店英平吉藏板」「江戸書買〈本石町十軒店〉英平吉板」
とあり。印記「佐久間／医院」（朱文正方印）。

青囊隱名積文 闕名 江戸期写本 一冊（仮綴本） 278

後装表紙打付書「青囊隱名積文」（朱子持梓）。印記「佐久
間／氏／家藏」（朱文正方印）「千葉県茂原市／高師／佐久間
洋行」（朱文長方印）。

各種生薬の異名の積文。書写は江戸初期か。

〔処方集〕 闕名 江戸期写本 一冊 272

印記「佐久間／医院」「峻／斎」（朱文正方印）。
書写は江戸初期か。仮綴の綴じが外されている。

〔医方薬名考〕 闕名 江戸期写本 一冊 182

首「外台秘要方薬銘考」以下各書薬名抜粹「某某薬名考」、
表紙打付書「外台秘要 千金方／和剂局方 救編瑣言／三因
方 万病回春〈正伝或問／医宗粹言〉／婦人良方 武備三大
秘書／医痛纂要 徽瘡秘録／外科啓玄 痘科鍵／外科正宗」、
印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」（朱文正方印）。

「外台秘要」「千金方」等からの抄録。購入元書肆販売名

「医方薬名考」。

東郭和田先生方意解〔和田東郭口授〕 門人筆記 江戸期写本

一冊 222

和文。原表紙打付書「東郭先生方意解」、後補表紙題簽「方意解〈東郭先生〉完」。印記「高嶺(?)」(墨文円印、貸本屋印か)「佐久間/医院」「峻斎/秘笈」「佐久間/氏/家藏」(朱文正方印)「千葉県茂原市/高師/佐久間洋行」(朱文長方印)。

印記「高嶺(?)」(墨文円印)は『産術階梯』(131)にもあり。

含章斎方意解 東郭和田先生口授 江戸期写本 一冊 223

和文。編著者事項「大日本 平安 東郭和田先生口授」、首に「(五十二)「金井」と墨筆書入あり。

雜科通治・雜病備用附録倭 (山田正珍) 江戸期写本 一冊

220 外題(表記打付書)「雜科通治/備用附録 全」、内題(巻首)「雜科通治」、次「雜病備用附録倭(諸家經驗/俗間通用)」。印記「師古閣/図書」(朱文長方印)「佐久間/医院」「峻斎/秘笈」(朱文正方印)「千葉県茂原市/高師/佐久間洋行」(朱文長方印)。

山田正珍『雜家備用方』抄録。

叢桂亭藏方 南陽原昌克子柔著 江戸期写本 一冊(仮綴本)

233

印記「佐久間/医院」「佐久間/氏/家藏」(朱文正方印)。

古方分量考 立花貞庵校 寛政五年(一七九三)序刊本 一冊

238

見返し「貞庵立花先生著/古方分量考 全/浪花書肆 積玉圃」。印記「佐久間/医院」「佐久間/氏/家藏」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。

古方兼用丸散方拊仲景方分量考 田口鼎信菴集撰 文化六年

(一八〇九) 江戸英平吉郎等刊文政八年(一八二五) 印本

一冊 209

末に「江戸日本橋本石町十軒店万笈堂英平吉藏版医書目錄」あり、見返し「文政八年第三次刻(梓外横書)〈東洞吉益先生著/信菴田口先生輯/〈古方/兼用〉丸散方(附/分量考)/〈江戸本石町第二街/十軒店 書林〉万笈堂英平吉板」、外題(題簽)「古方丸散方 三次改刻」、目錄末書入「呂祖全書治病仙方决疑籤前編/呂洞賓先生神方 武林王世陸雲重鐫」。印記「峻斎/秘笈」「佐久間/氏/家藏」(朱文正方印)。

209、210 別版。

古方兼用丸散方拊仲景方分量考 田口鼎信菴集撰 文化六年

(一八〇九) 江戸英平吉郎等刊文政八年(一八二五) 印本

一冊 210

奥付「文化六年己巳夏再訂/大江門/書房 北林堂 西宮 弥兵衛/泰山堂 升川藤兵衛/万笈堂 英平吉郎」、見返し

「文政八年第三次刻(梓外横書)〈東洞吉益先生著/信菴田口先生輯/古方/兼用〉丸散方(附/分量考)」、外題(題簽)「古/方」丸散方 完。印記「佐久間/医院」「佐久間/氏/家藏」(朱文正方印)。

209、210別版。

驅豎齋方府二卷 鬼国先生(新宮涼庭)撰 男(新宮)義慎増

補 男(新宮)義健重訂 弘化四年(一八四七)序木活字印

本 二冊 239

末に「新宮鬼国先生著書目録」あり、末に「書林 京都

若山屋茂助/大坂 河内屋藤兵衛」とあり、見返し「年々増

補/驅豎齋方府/使用有口訣」、本文のみ木活字。

纂方軌範(存卷三) 池上尚晟輯 江戸後期写本 存一冊 225

和文。

本冊のほか伝本見えず詳細未詳。古方派系の処方集。

膏方筌 闕名 江戸期写本 一冊 251

用箋(版心題「膏方筌」象尾「卷之」下部「浅田蔵」)使

用。印記「佐久間/医院」「峻斎/秘笈」(朱文正方印)。

勿誤藥室方函 安井元叔・三浦宗春編次 明治一〇年(一八七

七)活字印本(勿誤藥室蔵版) 一冊 255

見返し「明治十年五月聚珍版/方函/勿誤葯室」。印記

「峻斎/秘笈」(朱文正方印)。

勿誤藥室方函口訣二卷 栗園浅田先生口授 男(浅田)惟敷子

誠筆記 神林寛子讓參訂 明治一一年(一八七八)浅田宗伯

活字印本(勿誤藥室蔵版) 二冊 256

見返し「明治十一年四月刷印(梓外横書)浅田先生著/方

函口訣/勿誤藥室蔵」、和文。印記「乙葉蔵/書之章」(朱文

長方印)、「佐久間/医院」「峻斎/秘笈」(朱文正方印)。

「乙葉蔵/書之章」は『傷寒論識』(47)『治瘟編』(248)に

もあり。

勿誤藥室方函口訣二卷 栗園浅田先生口授 男(浅田)惟敷子

誠筆記 神林寛子讓參訂 明治一一年(一八七八)活字印本

(勿誤藥室蔵版) 一冊 257

見返し「浅田先生著/方函口訣/勿誤藥室蔵」和文。書套

「浅田先生著/方函口訣/勿誤藥室蔵」。印記「佐久間/医

院」「峻斎/秘笈」「佐久間/氏/家藏」(朱文正方印)「佐久

間」「千葉県茂原市高師/向陽堂 佐久間医院/佐久間洋

行」(朱文長方印)。

○

妙藥博物筌七卷(抄)(凡例、卷一目録、卷二抄録) 藤井以求

見隆纂輯 長岡恭齋丹堂校正 江戸期写本 一冊 269

和文。凡例、卷一目録、卷一の各抄録。

妙藥妙術宝因時(妙藥妙術集) 藤本常丸編 文政六年(一八

二三)序刊本 一冊(横長本) 315

外題(題簽)「妙藥妙術集」、序題「拔苦救民集(一名/宝

因蒔、内題(卷首)「妙藥／妙術」宝因蒔」。印記「羽生芳太郎」(朱文長印)「羽生／氏藏」(朱文變形円印)「峻齋／秘笈」(朱文正方印)。

○ 寧壽考六卷付録一卷(卷一至三闕) 大淵常範纂 (安政七年

(二八六〇)序) 刊本 一冊 186

版心下部「資善堂藏板」。印記「峻齋／秘笈」「佐久間／氏／家藏」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。

○ 和漢藥名箋 馬場明著 昭和五年(一九三〇)馬場明排印本

一冊(横長本) 183

印記「峻齋／秘笈」(朱文正方印)。

藥草と特効藥の研究 鹿野弘著 昭和二年(一九三六)藥草

研究所排印本 一冊 185

和文。

經驗漢方処方大成 大塚敬節・木村長久・矢数道明監修 氣賀

林一編 昭和一六年(一九四一)日本漢方医学会排印本 一冊(横長本) 307

印記「佐久間／医院」「峻齋／秘笈」「洋」(朱文正方印)。

一三、名義・書目・史伝

病名彙解七卷序目一卷(存卷三・四) (蘆川) 桂州甫著 (貞

享三年(一六八六)梅村弥右衛門植村藤右衛門) 刊本 存一

冊 216

和文。印記「讚州高松／不許他見」国方要仲藏」(墨文長

方印、貸本屋印か)「板東黙／平調藥／所之印」「板東／黙平」(朱文正方印)「板東」(朱文長方印)、他不明印一顆。

人身総名 石坂竿斎(宗哲)著 江戸期写本 一冊(仮綴本)

277

仮綴本に峻齋が表紙を付し、「人体総名」と打付書(「体

ママ)。

医語類編 戸塚積斎閱 男(戸塚) 卷藏纂輯 明治一六年(一

八八三) 戸塚卷藏刊本 一冊 280

刊記「明治十六年五月三日版權免許／同年五月出版／纂

輯兼／出版人」静岡県平民／戸塚卷藏／(住所)／発兌書肆

(住所)／島村利助／…、末に書肆広告書肆廣告「陸軍

本病院／海軍本病院／東京大学医学部／東京府病院) 官版御

用所／(…)／書肆(東京馬喰町二丁目) 英蘭堂島村利助

／(本郷春木町三丁目一番地) 同 支店) あり、見返し

「明治十六年春新鐫(梓外上部横書) 医学士戸塚卷藏纂輯／

医語類編／拙誠堂藏梓」、題簽「医語類編(戸塚卷藏纂輯)

全、和文。

医学三字経 源季茲撰 平(佐久間)洋行校 昭和三年(一九五八)佐久間洋行油印本 一冊 282

昭和一五年又三三年佐久間洋行跋あり、表紙「向陽堂誤刊叢書／医学三字経〈源季茲撰／平洋行校〉／限定100部。印

記「峻／斎」(朱文正方印)「佐久間」「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)。「向陽堂誤刊叢書」の一。

中国医籍考 丹波元胤編 一九五六年人民衛生出版社出版排印本 一冊 309

印記「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。

合類書籍目録大全・第四冊(「医書」部) 多田勘兵衛編 享和元年(一八〇二)大坂多田勘兵衛刊本 一冊 285

版心題「書籍大目録」。印記「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)「佐久間」「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)。

『合類書籍目録大全』のうち第四冊「医書」部。

医籍年表 栗園浅田惟常編 弘化四年(一八四七)成立 昭和一八年(一八四三)佐久間洋行写本 一冊(原稿用紙綴)

273 書写識語「癸未孟春／既望」於向陽堂南榮／佐久間洋行写之、表紙に峻斎により「弘化四年丁未仲夏(栗園先生時

年三十有五)／医籍年表 浅田宗伯編(朱子持粹)／明治二

十七年歿 時寿八十有五／後学〈南総医生〉佐久間洋行写」とあり。印記「千葉県茂原市高師／向陽堂 佐久間医院／佐久間洋行」(朱文長方印)。

八大家医伝二卷 滄海岡田元(昌春)矩著 明治二年(一八八九)杏雨社活字印本 二冊 275

外題(題簽)「八大家医伝」、内題「唐宋八大家医伝」「金元明清八大家医伝」、見返し「明治廿二年己丑翻雕(粹外上部横書)」「岡田昌春先生著／八大家医伝／杏雨社蔵」。

浅田宗伯翁伝二卷(存卷下) 赤沼金三郎著 明治二八年(一八九五)堀内伊太郎活字印本 存一冊 274

印記「佐久間／医院」(朱文正方印)。

永田徳本翁伝 小松带刀編 明治三四年(一九〇二)小松带刀活字印本 一冊 218

封面(扉)「…」編纂主任小松带刀著／望聖永田徳本伝／一名医心論／附神医經驗之遺方／徳本翁書牘」、永田徳本肖像あり、和文。印記「佐久間／医院」(朱文正方印)。

与合志杏菴書 村井純 江戸後期写本 一冊 226

印記「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。

一四、蘭方・西方

解体新書四卷(存卷四)〔キュルムス著〕 杉田玄白翼訳 中

- 川淳庵麟校 石川玄常世通參 桂川甫周世民閱 安永三年
 (二七七四) 須原屋市兵衛刊本 一冊 286
- 刊記「安永三年(甲午)仲秋/東武書林(室町二町目)須原屋市兵衛梓」。印記「峻齋/秘笈」(朱文正方印)「佐久間」(千葉県茂原市/高師/佐久間洋行)(朱文長方印)。
- 全体新論二卷図一卷 英国合信・清陳修堂同撰 安政四年(一八五七) 扱清咸豐元年(一八五二) 惠愛医局刊本重刊(越智藏版) 三冊 294
- 見返し「安政四丁巳晚冬(梓外横書) 清本翻刻/全体新論/越智藏版」、有図。書人詳密にあり。印記「本間/氏記」(白文正方印)「名資/興字/仁卿」(朱文正方印)「峻齋/秘笈」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。
- 西医略論三卷 英国合信・清管茂材同撰 安政五年(一八五八) 桃樹園三宅良齋扱清咸豐七年(一八五七) 上海仁済医館刊本重刊江戸老皂館万屋兵四郎後印本 四冊 293
- 封面「安政戊午晚冬新刊(英国医士/合信氏著)/西医略論/桃樹園藏梓」、有図。印記「佐久間/医院」「峻齋/秘笈」(朱文正方印)。
- 綴じが外されている。
- 内科新説 英国合信・清管茂材同撰 安政六年(一八五九) 桃樹園三宅良齋扱清咸豐八年(一八五八) 上海仁済医館刊本重刊江戸老皂館万屋兵四郎後印本 三冊 292
- 見返し「安政己未初冬新刊(英国医士/合信氏著)/内科新説/桃樹園藏梓」。印記「浅田/藏書」(朱文正方印)「久保田/藏書」(朱文正方印)「南畝」(朱文正方印)「佐久間/医院」(朱文正方印)。
- 原病学通論九卷 亜爾蔑聯斯講議 村治重厚・熊谷直温・安藤正胤記聞 明治七年(一八七四) 山中市兵衛刊本(三友舎藏版) 五冊 291
- 見返し「和蘭教師亜爾蔑聯斯講議/原病学通論/(明治七年/甲戌) 三友舎藏版」、有図。印記「中/島/清」(朱文円印)。
- 内科簡明一四卷(存卷四下至十) 日耳曼措設原撰 日本林洞海・石川良信(校所)・石黒忠恵訳(明治九年(一八七六)) 島村利助刊本(林洞海・石黒忠恵・石川良信三氏藏版) 存八冊 288
- 書肆広告「(陸軍医部/海軍病院/医学校)官版御用所/(略)/ (東京馬喰町二丁目) 英蘭堂 島村利助」
- 出版事項は同版本による。
- 医用化学三卷(巻下闕) (ニールスミス著述) 松村矩秋訳 明治九年(一八七六) 松村矩明活字印本 存二冊 290
- 奥付「明治九年一月十二日版權免許/翻訳并出版人(敦賀県士族) 松村矩明/(住所)/ 売弘書林(大阪府平民) 浅井吉兵衛/(住所)」、見返し「米國ニールスミス氏著述

／日本松村矩明訳／医用化学 上／〈明治甲戌／仲夏鐫行〉
啓蒙義社蔵版。

西医指要 今村亮祇卿著 浅田惟常識此評 明治一〇年(一八七七)活字印本(勿誤葯室蔵版) 一冊 289

見返し「明治丁丑聚珍版／西医指要／勿誤葯室蔵」。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。

綴じが外されている。

皮膚新編 美国嘉約翰口訳 清林湘東筆述 日本中村正直訓点
明治八年(一八七五)東京瑞穂屋清水卯三郎扱清同治一三年(一八七四)刊本重刊 一冊 287

末に「出売書目〈東京本町三丁目〉瑞穂屋」あり、奥付「官許〈明治七甲戌年／十二月廿三日〉／發兌書肆 東京本町三丁目／瑞穂屋卯三郎」、見返し「美国嘉約翰(ケルジオン)口訳／莆田林湘東筆述／皮膚新編／〈清国同治十三年新鐫／日本明治八年八月翻刻〉瑞穂屋蔵梓」、有図。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)。

一五、近代

医学士高田耕安先生講義理学的の診断 高田耕安先生講義 I.

K. 生(磯部松三)筆記 磯部松三自筆本 一冊(仮綴本) 295

表紙打付書「高田先生述／理学的の診断／I. K. 生筆記」和文。印記「静□堂／医院□」(朱文正方印)「佐久間／氏／家蔵」(朱文正方印)「佐久間」「千葉県茂原市／高師／佐久間洋行」(朱文長方印)、表紙に「磯部松三筆記 峻斎所蔵(白文正方印「洋」とあり)。

古代中国の性理学 山原太明著 昭和二九年(一九五三)株式会社医学書院排印本 一冊 303

和文。印記「峻斎／秘笈」(朱文正方印)「佐久間」(朱文長方印)「佐久間」(朱文円印)。

序説(「古代中国に於ける医学思想」)部のみ別に綴じ、後補表紙に「『医心方』卷第二八房内部解説抄録(控) 佐久間洋行」と題す。

保健衛生一日二食論 永井潜・岡崎桂一郎著 大正八年(一九一九)文会堂書店排印本 一冊 305

和文。著者岡崎桂一郎名刺貼付「二食論贈呈 拙著」とあり。印記「佐久間／医院」「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。

実験有効民間療法 伊藤尚賢著 大正九年(一九二〇)新橋堂書店排印本 一冊 304

和文。

西洋より漢方へ 浅田賀寿衛(因伯)編 昭和五年(一九三

○) 年下田文栄堂排印本 一冊
和文。 306

北里研究所二十五年誌 北里研究所編 昭和一四年(一九三

九) 北里研究所排印本 一冊 311

献辞「呈 佐久間殿 北里善次郎」(扉)。印記「峻斎／秘

笈」(朱文正方印)。

北里善次郎(一八九七～一九七八)は北里柴三郎二男。

人性論 永井潜著 昭和一八年(一九四三) 人文書院排印本

一冊 314

和文。印記「峻斎／秘笈」(朱文正方印)。

東京大学総合図書館古医学書目録 東京大学総合図書館編 昭

和五三年(一九七八) 日本古医学資料センター排印本 一冊

310